令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）　【一般土木・舗装】

○評価項目

令和6年9月6日以降適用

評価項目		評価基準	施工能力評価型											
			Ⅱ型		Ⅰ型 ①						Ⅰ型 ②			
			2.5億円未満（B・C・D等級）（舗装：0.8億円未満（B等級））		2.5億円以上（舗装：0.8億円以上）（A・B等級）									
					工事区分等級 A工事		工事区分等級 AB工事		工事区分等級 A工事		工事区分等級 AB工事	
			評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
技術者	同種工事の施工実績（過去15年間の同種工事実績の同種性・立場）	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	7.0	7.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	7.0	7.0	7.0	7.0
		より同種性の高い工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	3.5		1.5		1.5		1.5		3.5		3.5	
		同種性が認められる工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	工事成績（過去10年間の開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人としての任意の一工事，同一工事区分）※1，※2	83点以上	8.0	8.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	8.0	8.0	8.0	8.0
		82点以上83点未満	7.3		2.8		2.8		2.8		7.3		7.3	
		81点以上82点未満	6.6		2.6		2.6		2.6		6.6		6.6	
		80点以上81点未満	5.9		2.4		2.4		2.4		5.9		5.9	
		79点以上80点未満	5.2		2.2		2.2		2.2		5.2		5.2	
		78点以上79点未満	4.5		2.0		2.0		2.0		4.5		4.5	
		77点以上78点未満	3.8		1.8		1.8		1.8		3.8		3.8	
		76点以上77点未満	3.1		1.6		1.6		1.6		3.1		3.1	
		75点以上76点未満	2.4		1.4		1.4		1.4		2.4		2.4	
		74点以上75点未満	1.7		1.2		1.2		1.2		1.7		1.7	
		73点以上74点未満	1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	
		72点以上73点未満	0.3		0.8		0.8		0.8		0.3		0.3	
		72点未満，又は実績なし	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	北海道開発局長優良工事表彰等（過去4年間。但し、舗装工事のみ工事区分「舗装」での表彰を評価。）	局長表彰あり（同一事業部門限定）	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
		海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣賞　※3	3.0	重複なし	3.0	重複なし	3.0	重複なし	3.0	重複なし	3.0	重複なし	3.0	重複なし
		網走開発建設部長表彰あり（同一事業部門限定）	1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5	
		海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣奨励賞　※3	1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5	
	CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定有り	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0
	施工監理能力の確認（書面）	過去の同種工事の実績・経験を踏まえた、当該工事での留意事項等　秀			10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0				
		優			6.7		6.7		6.7					
		良			3.3		3.3		3.3					
		可			0.0		0.0		0.0					
	小　計（技術者配点）			19.0		19.5		19.5		19.5		19.0		19.0
企業	同種工事の施工実績（過去15年間）	より同種性の高い工事実績あり	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
		同種性が認められる工事実績あり	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	工事成績（過去2年間の開発局発注工事の成績平均点。但し、舗装工事のみ工事区分「舗装」の工事成績平均点を評価。）※1，※2	83点以上	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
		82点以上83点未満	4.6		4.6		5.5		5.5		5.5		5.5	
		81点以上82点未満	4.2		4.2		5.0		5.0		5.0		5.0	
		80点以上81点未満	3.8		3.8		4.5		4.5		4.5		4.5	
		79点以上80点未満	3.4		3.4		4.0		4.0		4.0		4.0	
		78点以上79点未満	3.0		3.0		3.5		3.5		3.5		3.5	
		77点以上78点未満	2.6		2.6		3.0		3.0		3.0		3.0	
		76点以上77点未満	2.2		2.2		2.5		2.5		2.5		2.5	
		75点以上76点未満	1.8		1.8		2.0		2.0		2.0		2.0	
		74点以上75点未満	1.4		1.4		1.5		1.5		1.5		1.5	
		73点以上74点未満	1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	
		72点以上73点未満	0.6		0.6		0.5		0.5		0.5		0.5	
		72点未満，又は実績なし	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	表彰等［過去2年間の局長等優良工事表彰、過去1年間の北海道開発局i-Con奨励賞、受賞決定日の翌月1日から2年間の国土交通省インフラDX大賞及び当該年度の工事成績優秀企業。ただし、舗装工事のみ工事区分「舗装」での表彰を評価。］	局長表彰または国土交通省インフラDX大賞：大臣賞あり（同一事業部門限定）	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
		網走開発建設部長表彰または国土交通省インフラDX大賞：優秀賞あり（同一事業部門限定）	1.0	重複なし（※4）	1.0	重複なし（※4）	1.0	重複なし（※4）	1.0	重複なし（※4）	1.0	重複なし（※4）	1.0	重複なし（※4）
		北海道開発局i-Con奨励賞あり(同一事業部門限定)	0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5	
		工事成績優秀企業	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	NETIS登録技術の活用　※5【新技術活用の義務化対象工事では使用しない。】	①当該工事の関連分野での技術開発実績（NETIS登録）あり	0.5	1.0	0.5	1.0	0.5	1.0	0.5	1.0	0.5	1.0	0.5	1.0
		②有用な新技術の当該工事への活用あり	0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5	
		上記①と②が同技術である	1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	
		なし	0.0	重複なし	0.0	重複なし	0.0	重複なし	0.0	重複なし	0.0	重複なし	0.0	重複なし

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）　　【一般土木・舗装】

令和6年9月6日以降適用

○評価項目

評価項目		評価基準	施工能力評価型											
			Ⅱ型		Ⅰ型 ①						Ⅰ型 ②			
			2.5億円未満（B・C・D等級）（舗装：0.8億円未満（B等級））				2.5億円以上（舗装：0.8億円以上）（A・B等級）							
							工事区分等級 A工事		工事区分等級 AB工事		工事区分等級 A工事		工事区分等級 AB工事	
			評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
地域精通度	本支店・営業所の所在地 ※6	オホーツク総合振興局管内本店	2.0	2.0（管内本店が条件の時は配点なし）	2.0	2.0（管内本店が条件の時は配点なし）	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.0	2.0	2.0
		道内本店かつオホーツク総合振興局管内支店・営業所	1.0		1.0		0.5		1.0		0.5		1.0	
		道内本店	0.0		0.0		0.3		0.5		0.3		0.5	
		道内支店・営業所	―		―		―		―		―		―	
	近隣地域での施工実績（過去10年間のオホーツク総合振興局管内実績）	5件以上あり	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.0	2.0	2.0
		4件以下又はなし	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
地域貢献度	災害活動の実態（活動実績）、防災訓練の実績、災害活動拠点及び通年保有資機材の実績	a 災害時における活動実績あり	1.0	1.0（最大1点まで ただし、b，c,dのみ重複あり）	1.0	1.0（最大1点まで ただし、b，c,dのみ重複あり）	1.0	1.0（最大1点まで ただし、b，c,dのみ重複あり）	1.0	1.0（最大1点まで ただし、b，c,dのみ重複あり）	1.0	1.0（最大1点まで ただし、b，c,dのみ重複あり）	1.0	1.0（最大1点まで ただし、b，c,dのみ重複あり）
		b 防災訓練の実績	0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5	
		c 管内に災害活動拠点とした社屋を除く倉庫等保有	0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5	
		d 管内に通年保有資機材の保有	0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5	
		なし	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	災害活動の実態（協定の締結）	a 国の機関との締結あり	1.0	1.0（重複なし）	1.0	1.0（重複なし）	1.0	1.0（重複なし）	1.0	1.0（重複なし）	1.0	1.0（重複なし）	1.0	1.0（重複なし）
		b 地方自治体との締結あり	0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5	
		なし	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
小　計（企業配点）			管内本店	16.5	管内本店	16.5	18.5		20.5		18.5		20.5	
			上記以外	18.5	上記以外	18.5								
技術提案等	施工計画	適切に記載されている									可		可	
		不適切な記載である、又は未記載									不可	失格	不可	失格
ヒアリング	技術者の施工監理能力	十分な監理能力が確認できる									×1.0	技術者同種実績評価点に係数を乗じる	×1.0	技術者同種実績評価点に係数を乗じる
		一定の監理能力が期待できる									×0.5		×0.5	
		上記以外									×0.0		×0.0	
	技術者の施工計画の理解度	施工計画の説明が適切である									可		可	
		施工計画の説明が不適切である									不可	失格	不可	失格
配　点　合　計			管内本店	35.5	管内本店	36.0	38.0		40.0		37.5		39.5	
			上記以外	37.5	上記以外	38.0								

○舗装工事　選択項目（標準項目に原則的に追加して評価）

企業	舗装施工管理技術者（一般社団法人日本道路建設業協会認定資格）	1級×1＋2級×0.5の値を評価	1.0以上	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			1.0未満	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	技能者の元請比率	（元請の配置予定技能者数+子会社の配置予定技能者数）/全配置予定技能者数	0.7以上	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			0.7未満	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	主要機械の元請比率 注1）	（元請が保有している配置予定主要機械数+子会社が保有している配置予定主要機械数+元請が長期リースしている配置予定主要機械数）/全配置予定主要機械数	0.5以上	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			0.5未満	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	

注1）　ICT活用工事の場合は評価対象外

○漁港工事　選択項目（標準項目に原則的に追加して評価）

企業	漁港漁場関係事業優良請負者表彰（過去2年間）	農林水産大臣又は水産庁長官表彰あり	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
技術者	施工環境監理者の資格	技術士（水産土木）を有している	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		水産工学技士を有している	0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5	
		上記以外	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	

○作業船を使用する港湾・漁港工事（必須項目）

企業	作業船の保有	保有比率50%以上または保険支払比率50%以上	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
		保有比率20%以上50%未満または保険支払比率20%以上50%未満	1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	
		保有比率20%未満または保険支払比率20%未満	0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5	
		上記以外	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）　　【一般土木・舗装】

令和6年9月6日以降適用

○評価項目

評価項目		評価基準	施工能力評価型											
			Ⅱ型		Ⅰ型 ①						Ⅰ型 ②			
			2.5億円未満（B・C・D等級）（舗装：0.8億円未満（B等級））				2.5億円以上（舗装：0.8億円以上）（A・B等級）							
							工事区分等級 A工事		工事区分等級 AB工事		工事区分等級 A工事		工事区分等級 AB工事	
			評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
○環境性能の高い作業船を使用する港湾・漁港工事（必須項目）														
企業	環境性能の高い作業船（作業船に設置されている原動機）又は、環境性能の高い作業船又は新造船の評価	保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した新造船であり、出資比率50%以上	3.0 (1.5)	3.0	3.0 (1.5)	3.0	3.0 (1.5)	3.0	3.0 (1.5)	3.0	3.0 (1.5)	3.0	3.0 (1.5)	3.0
		保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した新造船であり、出資比率20%以上50%未満	1.5 (0.7)		1.5 (0.7)		1.5 (0.7)		1.5 (0.7)		1.5 (0.7)		1.5 (0.7)	
		保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した新造船であり、出資比率20%未満	0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)	
		保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した船であり、出資比率50%以上	2.0 (1.0)		2.0 (1.0)		2.0 (1.0)		2.0 (1.0)		2.0 (1.0)		2.0 (1.0)	
		保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した船であり、出資比率20%以上50%未満	1.0 (0.5)		1.0 (0.5)		1.0 (0.5)		1.0 (0.5)		1.0 (0.5)		1.0 (0.5)	
		保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した船であり、出資比率20%未満	0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)	
		上記以外	0.0 (0.0)		0.0 (0.0)		0.0 (0.0)		0.0 (0.0)		0.0 (0.0)		0.0 (0.0)	

※平成22年改正前の窒素酸化物放出量基準を満足している作業船について評価する場合は、満点から1/2を乗じて加点する。【表中の（　）数値】
※環境性能の高い作業船（作業船に設置されている原動機）の評価又は環境性能の高い作業船（新造船）の評価の、どちらか高い配点の基準を採用し、重複した評価はしない。

○新技術導入促進（Ⅰ型）【NETIS登録技術の活用と重複評価なし。新技術活用の原則義務化対象外の工事かつ施工能力評価型Ⅰ型に適用】

企業	NETIS登録技術又はNETIS掲載期間を終了しているが有効性が認められる技術	提案された新技術（NETIS登録）の活用が有効かつ具体的である			2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
		提案された新技術（NETIS未登録）の活用が有効かつ具体的である			1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	
		提案された新技術の活用が有効かつ、具体的でない			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	

○ICT活用工事（選択項目）

企業	ICTの活用	活用あり	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
		活用なし	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	

○現道に係る道路工事（選択項目）

地域精通度	維持工事の施工実績（当該工事区間を含む維持実績）	一般土木工事：年間維持除雪工事の施工実績5年以上あり 舗装工事：舗装維持工事の施工実績5年以上あり	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5

※現道に係る工事の場合に、必要に応じ設定する。

○登録基幹技能者等の活用（選択項目）

企業	登録基幹技能者、建設マスター、技能者を対象工事に配置した場合（元請け又は一次下請け）	登録基幹技能者を配置	1.0	1.0 重複なし	1.0	1.0 重複なし	1.0	1.0 重複なし	1.0	1.0 重複なし	1.0	1.0 重複なし	1.0	1.0 重複なし
		建設マスターを配置	1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	
		技能士を配置	0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5	
		配置なし	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	

○ワークライフバランス等推進企業に対する評価

企業	企業の能力等	ワーク・ライフ・バランス等推進企業等 ※7	次に掲げるいずれかの認定を受けている ①女性活躍推進法に基づく認定等（プラチナえるぼし・えるぼし認定企業等） ②次世代法に基づく認定（プラチナくるみん・くるみん（令和4年4月1日以降の基準）・くるみん（平成29年4月1日～令和4年3月31日までの基準）・くるみん（平成29年3月31日までの基準）・トライくるみん認定企業 ③若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール認定企業）			0.5	0.5			0.5	0.5	

○賃上げを実施する企業に対する加点措置

企業	契約を行う予定の年の4月以降に開始する入札者の最初の事業年度または契約を行う予定の暦年において、賃上げの実施を従業員に表明した企業等の評価	【大企業の場合】対前年度または前年比で給与等受給者一人当たりの平均受給額を3%以上増加 【中小企業の場合】対前年度または前年比で給与総額を1．5%以上増加	賃上げ配点　計算式 （技術者の小計＋企業の小計）×5%（小数点以下切上げて整数にする）・・・① ①÷（技術者の小計＋企業の小計＋①）≧5%　①が配点 ①÷（技術者の小計＋企業の小計＋①）＜5%　①に1点加点した点数が配点

○賃上げ基準に達していない企業への減点措置

企業	賃上げの実施を従業員に表明したが、賃上げ基準に達していない企業への減点	賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点	該当企業は、財務省から通知された日から1年間、賃上げ加算点よりも1点大きな配点で減点する （賃上げ基準に達していない企業のみ減点対象）

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）　　【一般土木・舗装】

〇評価項目

令和6年9月6日以降適用

評価項目	評価基準	施工能力評価型											
		Ⅱ型		Ⅰ型 ①						Ⅰ型 ②			
		2.5億円未満（B・C・D等級）（舗装：0.8億円未満（B等級））				2.5億円以上（舗装：0.8億円以上）（A・B等級）							
						工事区分等級 A工事		工事区分等級 AB工事		工事区分等級 A工事		工事区分等級 AB工事	
		評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点

※1 「一般土木」工事では、工事区分「維持」の維持工事（年間維持除雪等）の成績も評価対象とする。（道路部門限定）
※2 「舗装」工事では、工事区分「維持」の舗装補修工事又は舗装維持工事の成績も評価対象とする。（道路部門限定）
※3 海外インフラプロジェクト優秀技術者認定・表彰制度に係る評価は「河川・道路・港湾（漁港を除く）」部門のみ対象とする。
※4 国土交通省インフラDX大賞は「河川・道路・港湾（漁港を除く）・営繕」部門のみ対象とする。また、優良工事表彰、国土交通省インフラDX大賞及び北海道開発局i-Con奨励賞の重複加点は行わず、評価値の高い方で評価を行う。
※5 「新技術導入促進（Ⅰ型）」を適用する場合は、従来のNETIS評価は行わない。（重複評価はしない）
※6 地域精通度の配点について、左欄は道内本店、右欄は道内本支店営業所の場合に対応している。
※7 一般土木及び建築のうち、A等級の工事発注を対象とする。

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）

○評価項目

令和6年9月6日以降適用

評価項目		評価基準	施工能力評価型							
			若手技術者育成型		若手技術者育成型		若手技術者育成型		若手技術者育成型	
			Ⅰ型 ①		Ⅱ型・Ⅰ型②		Ⅰ型 ① 同等評価型		Ⅱ型・Ⅰ型② 同等評価型	
			評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
技術者	同種工事の施工実績 （過去15年間の同種工事実績の同種性・立場）	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者、現場代理人又は監理技術者補佐若しくは担当技術者として従事					3.0	3.0	7.0	7.0
		同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者、現場代理人又は監理技術者補佐若しくは担当技術者として従事					1.5		3.5	
		該当なし					0.0		0.0	
	工事成績 （過去10年間の開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人としての任意の一工事，同一工事区分）※1	83点以上								
		82点以上83点未満								
		81点以上82点未満								
		80点以上81点未満								
		79点以上80点未満								
		78点以上79点未満								
		77点以上78点未満								
		76点以上77点未満								
		75点以上76点未満								
		74点以上75点未満								
		73点以上74点未満								
		72点以上73点未満								
		72点未満，又は実績なし								
	北海道開発局長優良工事表彰等 （過去4年間。但し、舗装工事のみ工事区分「舗装」での表彰を評価。）	局長表彰あり（同一事業部門限定）								
		海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣賞　※2								
		網走開発建設部長表彰あり（同一事業部門限定）								
		海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣奨励賞 ※2								
	主任（監理）技術者の資格 （オプション項目）	技術士又は1級土木施工管理技士経験年数10年以上	—		—		—		—	
		1級土木施工管理技士経験年数5年以上10年未満	—		—		—		—	
		技術士又は1級土木施工管理技士経験年数5年以上	(0.5)		(0.5)		(0.5)		(0.5)	
		上記以外	(0.0)		(0.0)		(0.0)		(0.0)	
	CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定有り	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	0.5	1.0	1.0
		なし	0.0		0.0		0.0		0.0	
	施工監理能力の確認（書面）	当該工事での留意事項等　秀	10.0	10.0			10.0	10.0		
		優	6.7				6.7			
		良	3.3				3.3			
		可	0.0				0.0			
	小　計（技術者配点）			10.5		1.0		13.5		8.0
企業	同種工事の施工実績 （過去15年間） ※（ ）書きは、予定価格が2.5億円未満の工事に適用。	より同種性の高い工事実績あり	(4.0) 5.0	5.0 ※(4.0)	(4.0) 5.0	5.0 ※(4.0)	(4.0) 5.0	5.0 ※(4.0)	(4.0) 5.0	5.0 ※(4.0)
		同種性が認められる工事実績あり	0.0		0.0		0.0		0.0	
	工事成績 （過去2年間の開発局発注工事の成績平均点。但し、舗装工事のみ工事区分「舗装」の工事成績平均点を評価。） ※1 ※（ ）書きは、予定価格が2.5億円未満の工事に適用。	83点以上	(5.0) 6.0	6.0 ※(5.0)	(5.0) 6.0	6.0 ※(5.0)	(5.0) 6.0	6.0 ※(5.0)	(5.0) 6.0	6.0 ※(5.0)
		82点以上83点未満	(4.6) 5.5		(4.6) 5.5		(4.6) 5.5		(4.6) 5.5	
		81点以上82点未満	(4.2) 5.0		(4.2) 5.0		(4.2) 5.0		(4.2) 5.0	
		80点以上81点未満	(3.8) 4.5		(3.8) 4.5		(3.8) 4.5		(3.8) 4.5	
		79点以上80点未満	(3.4) 4.0		(3.4) 4.0		(3.4) 4.0		(3.4) 4.0	
		78点以上79点未満	(3.0) 3.5		(3.0) 3.5		(3.0) 3.5		(3.0) 3.5	
		77点以上78点未満	(2.6) 3.0		(2.6) 3.0		(2.6) 3.0		(2.6) 3.0	
		76点以上77点未満	(2.2) 2.5		(2.2) 2.5		(2.2) 2.5		(2.2) 2.5	
		75点以上76点未満	(1.8) 2.0		(1.8) 2.0		(1.8) 2.0		(1.8) 2.0	
		74点以上75点未満	(1.4) 1.5		(1.4) 1.5		(1.4) 1.5		(1.4) 1.5	
		73点以上74点未満	(1.0) 1.0		(1.0) 1.0		(1.0) 1.0		(1.0) 1.0	
		72点以上73点未満	(0.6) 0.5		(0.6) 0.5		(0.6) 0.5		(0.6) 0.5	
		72点未満，又は実績なし	0.0		0.0		0.0		0.0	

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）

○評価項目

令和6年9月6日以降適用

評価項目			評価基準	施工能力評価型							
				若手技術者育成型		若手技術者育成型		若手技術者育成型		若手技術者育成型	
				Ⅰ型 ①		Ⅱ型・Ⅰ型②		Ⅰ型 ① 同等評価型		Ⅱ型・Ⅰ型② 同等評価型	
				評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
企業	表彰等 [過去2年間の局長等優良工事表彰、過去1年間の北海道開発局i-Con奨励賞、受賞決定日の翌月1日から2年間の国土交通省インフラDX大賞及び当該年度の工事成績優秀企業。ただし、舗装工事のみ工事区分「舗装」での表彰を評価。]		局長表彰または国土交通省インフラDX大賞：大臣賞あり（同一事業部門限定）	2.0	2.0 重複なし ※3	2.0	2.0 重複なし ※3	2.0	2.0 重複なし ※3	2.0	2.0 重複なし ※3
			網走開発建設部長表彰または国土交通省インフラDX大賞：優秀賞あり（同一事業部門限定）	1.0		1.0		1.0		1.0	
			北海道開発局i-Con奨励賞あり(同一事業部門限定)	0.5		0.5		0.5		0.5	
			工事成績優秀企業	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	NETIS登録技術の活用　※4 【新技術活用の義務化対象工事では使用しない。】		①当該工事の関連分野での技術開発実績（NETIS登録）あり	0.5	1.0 重複なし	0.5	1.0 重複なし	0.5	1.0 重複なし	0.5	1.0 重複なし
			②有用な新技術の当該工事への活用あり	0.5		0.5		0.5		0.5	
			上記①と②が同技術である	1.0		1.0		1.0		1.0	
			なし	0.0		0.0		0.0		0.0	
	地域精通度	本支店・営業所の所在地 ※（　）書きは、予定価格が2.5億円未満又は2.5億円以上（ABくい上がり）の工事に適用。	オホーツク総合振興局管内本店	(2.0)1.0	1.0 ※(2.0) （管内本店が条件の時は配点なし）	(2.0)1.0	1.0 ※(2.0) （管内本店が条件の時は配点なし）	(2.0)1.0	1.0 ※(2.0) （管内本店が条件の時は配点なし）	(2.0)1.0	1.0 ※(2.0) （管内本店が条件の時は配点なし）
			道内本店かつオホーツク総合振興局管内支店・営業所	(1.0)0.5		(1.0)0.5		(1.0)0.5		(1.0)0.5	
			道内本店	0.0		0.0		0.0		0.0	
			道内支店・営業所	—		—		—		—	
		近隣地域での施工実績 （過去10年間のオホーツク総合振興局管内実績） ※（　）書きは、予定価格が2.5億円未満又は2.5億円以上（ABくい上がり）の工事に適用。	5件以上あり	(2.0)1.0	1.0 ※(2.0)	(2.0)1.0	1.0 ※(2.0)	(2.0)1.0	1.0 ※(2.0)	(2.0)1.0	1.0 ※(2.0)
			4件以下又はなし	0.0		0.0		0.0		0.0	
	地域貢献度	災害活動の実態（活動実績）、防災訓練の実績、災害活動拠点及び通年保有資機材の実績	a 災害時における活動実績あり	1.0	1.0 最大1点まで ただし、b,c,dのみ重複あり	1.0	1.0 最大1点まで ただし、b,c,dのみ重複あり	1.0	1.0 最大1点まで ただし、b,c,dのみ重複あり	1.0	1.0 最大1点まで ただし、b,c,dのみ重複あり
			b 防災訓練の実績	0.5		0.5		0.5		0.5	
			c 管内に災害活動拠点とした社屋を除く倉庫等保有	0.5		0.5		0.5		0.5	
			d 管内に通年保有資機材の保有	0.5		0.5		0.5		0.5	
			なし	0.0		0.0		0.0		0.0	
		災害活動の実態（協定の締結）	a 国の機関との締結あり	1.0	1.0 重複なし	1.0	1.0 重複なし	1.0	1.0 重複なし	1.0	1.0 重複なし
			b 地方自治体との締結あり	0.5		0.5		0.5		0.5	
			なし	0.0		0.0		0.0		0.0	
	小　計（企業配点）			管内本店 上段：A工事 下段：上段以外	17.5 18.5 (16.5)	管内本店 上段：A工事 下段：上段以外	17.5 18.5 (16.5)	管内本店 上段：A工事 下段：上段以外	17.5 18.5 (16.5)	管内本店 上段：A工事 下段：上段以外	17.5 18.5 (16.5)
				上記以外 上段：A工事 下段：上段以外	18.5 20.5 (18.5)	上記以外 上段：A工事 下段：上段以外	18.5 20.5 (18.5)	上記以外 上段：A工事 下段：上段以外	18.5 20.5 (18.5)	上記以外 上段：A工事 下段：上段以外	18.5 20.5 (18.5)
技術提案等	施工計画		適切に記載されている								
			不適切な記載である、又は未記載								
ヒアリング	技術者の施工監理能力		十分な監理能力が確認できる								
			一定の監理能力が期待できる								
			上記以外								
	技術者の施工計画の理解度		施工計画の説明が適切である								
			施工計画の説明が不適切である								
配　点　合　計				管内本店 上段：A工事 下段：上段以外	28.0 29.0(27.0)	管内本店 上段：A工事 下段：上段以外	18.5 19.5(17.5)	管内本店 上段：A工事 下段：上段以外	31.0 33.0(31.0)	管内本店 上段：A工事 下段：上段以外	25.5 26.5(24.5)
				上記以外 上段：A工事 下段：上段以外	29.0 31.0(29.0)	上記以外 上段：A工事 下段：上段以外	19.5 21.5(19.5)	上記以外 上段：A工事 下段：上段以外	33.0 35.0(33.0)	上記以外 上段：A工事 下段：上段以外	26.5 28.5(26.5)

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）

○評価項目

令和6年9月6日以降適用

評価項目		評価基準		施工能力評価型							
				若手技術者育成型		若手技術者育成型		若手技術者育成型		若手技術者育成型	
				Ⅰ型 ①		Ⅱ型・Ⅰ型②		Ⅰ型 ① 同等評価型		Ⅱ型・Ⅰ型② 同等評価型	
				評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
○舗装工事　選択項目（標準項目に原則的に追加して評価）											
企業	舗装施工管理技術者 （一般社団法人日本道路建設業協会認定資格）	1級×1＋2級×0.5の値を評価	1.0以上	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			1.0未満	0.0		0.0		0.0		0.0	
	技能者の元請比率	（元請の配置予定技能者数+子会社の配置予定技能者数）/全配置予定技能者数	0.7以上	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			0.7未満	0.0		0.0		0.0		0.0	
	主要機械の元請比率 注1）	（元請が保有している配置予定主要機械数+子会社が保有している配置予定主要機械数+元請が長期リースしている配置予定主要機械数）/全配置予定主要機械数	0.5以上	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			0.5未満	0.0		0.0		0.0		0.0	

注1）ICT活用工事の場合は評価対象外

○漁港工事　選択項目（標準項目に原則的に追加して評価）

企業	漁港漁場関係事業優良請負者表彰（過去2年間）	農林水産大臣又は水産庁長官表彰あり	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
技術者	施工環境監理者の資格	技術士（水産土木）を有している	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		水産工学技士を有している	0.5		0.5		0.5		0.5	
		上記以外	0.0		0.0		0.0		0.0	

○作業船を使用する港湾・漁港工事（必須項目）

企業	作業船の保有	保有比率50%以上または保険支払比率50%以上	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
		保有比率20%以上50%未満または保険支払比率20%以上50%未満	1.0		1.0		1.0		1.0	
		保有比率20%未満または保険支払比率20%未満	0.5		0.5		0.5		0.5	
		上記以外	0.0		0.0		0.0		0.0	

○環境性能の高い作業船を使用する港湾・漁港工事（必須項目）

企業	環境性能の高い作業船（作業船に設置されている原動機）又は、環境性能の高い作業船（又は新造船）の評価	保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した新造船であり、出資比率50%以上	3.0 (1.5)	3.0	3.0 (1.5)	3.0	3.0 (1.5)	3.0	3.0 (1.5)	3.0
		保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した新造船であり、出資比率20%以上50%未満	1.5 (0.7)		1.5 (0.7)		1.5 (0.7)		1.5 (0.7)	
		保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した新造船であり、出資比率20%未満	0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)	
		保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した船であり、出資比率50%以上	2.0 (1.0)		2.0 (1.0)		2.0 (1.0)		2.0 (1.0)	
		保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した船であり、出資比率20%以上50%未満	1.0 (0.5)		1.0 (0.5)		1.0 (0.5)		1.0 (0.5)	
		保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した船であり、出資比率20%未満	0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)		0.5 (0.2)	
		上記以外	0.0 (0.0)		0.0 (0.0)		0.0 (0.0)		0.0 (0.0)	

※平成22年改正前の窒素酸化物放出量基準を満足している作業船について評価する場合は、満点から1/2を乗じて加点する。【表中の()数値】
※環境性能の高い作業船（作業船に設置されている原動機）の評価又は環境性能の高い作業船（新造船）の評価の、どちらか高い配点の基準を採用し、重複した評価はしない。

○新技術導入促進（Ⅰ型）【NETIS登録技術の活用と重複評価なし。新技術活用の原則義務化対象外の工事かつ施工能力評価型Ⅰ型に適用】

企業	NETIS登録技術又はNETIS掲載期間を終了しているが有効性が認められる技術	提案された新技術（NETIS登録）の活用が有効かつ具体的である	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
		提案された新技術（NETIS未登録）の活用が有効かつ具体的である	1.0		1.0		1.0		1.0	
		提案された新技術の活用が有効かつ、具体的でない	0.0		0.0		0.0		0.0	

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）

○評価項目

令和6年9月6日以降適用

評価項目		評価基準	施工能力評価型							
			若手技術者育成型		若手技術者育成型		若手技術者育成型		若手技術者育成型	
			Ⅰ型 ①		Ⅱ型・Ⅰ型②		Ⅰ型 ① 同等評価型		Ⅱ型・Ⅰ型② 同等評価型	
			評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
○現道に係る道路工事（選択項目）										
地域精通度	維持工事の施工実績 （当該工事区間を含む維持実績）	一般土木工事：年間維持除雪工事の施工実績5年以上あり 舗装工事：舗装維持工事の施工実績5年以上あり	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5

※現道に係る工事の場合に、必要に応じ設定する。

○ICT活用工事（選択項目）										
企業	ICTの活用	活用あり	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
		活用なし	0.0		0.0		0.0		0.0	
○登録基幹技能者等の活用（選択項目）										
企業	登録基幹技能者、建設マスター、技能者を対象工事に配置した場合（元請け又は一次下請け）	登録基幹技能者を配置	1.0	1.0 重複なし	1.0	1.0 重複なし	1.0	1.0 重複なし	1.0	1.0 重複なし
		建設マスターを配置	1.0		1.0		1.0		1.0	
		技能士を配置	0.5		0.5		0.5		0.5	
		配置なし	0.0		0.0		0.0		0.0	
○若手技術者の年齢による加点（選択項目）										
技術者	配置予定監理（主任）技術者の年齢に応じて加点	配置予定監理（主任）技術者の年齢が公示日現在満45歳以下である	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		配置予定監理（主任）技術者の年齢が公示日現在満46歳を超えている	0.0		0.0		0.0		0.0	

※基準は公告日時点の満年齢

○ワークライフバランス等推進企業に対する評価										
企業	企業の能力等	ワーク・ライフ・バランス等推進企業等 ※5	次に掲げるいずれかの認定を受けている ①女性活躍推進法に基づく認定等（プラチナえるぼし・えるぼし認定企業等） ②次世代法に基づく認定（プラチナくるみん・くるみん（令和4年4月1日以降の基準）・くるみん（平成29年4月1日～令和4年3月31日までの基準）・くるみん（平成29年3月31日までの基準）・トライくるみん認定企業 ③若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール認定企業）	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5

○賃上げを実施する企業に対する加点措置

企業	契約を行う予定の年の4月以降に開始する入札者の最初の事業年度または契約を行う予定の暦年において、賃上げの実施を従業員に表明した企業等の評価	【大企業の場合】対前年度または前年比で給与等受給者一人当たりの平均受給額を3%以上増加 【中小企業の場合】対前年度または前年比で給与総額を1．5%以上増加	賃上げ配点　計算式 （技術者の小計＋企業の小計）×5%（小数点以下切上げて整数にする）・・・① ①÷（技術者の小計＋企業の小計＋①）≧5%　①が配点 ①÷（技術者の小計＋企業の小計＋①）＜5%　①に1点加点した点数が配点

○賃上げ基準に達していない企業への減点措置

企業	賃上げの実施を従業員に表明したが、賃上げ基準に達していない企業への減点	賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点	該当企業は、財務省から通知された日から1年間、賃上げ加算点よりも1点大きな配点で減点する （賃上げ基準に達していない企業のみ減点対象）

※1 「一般土木」工事では、工事区分「維持」の維持工事（年間維持除雪等）の成績も評価対象とする。（道路部門限定）
※2 海外インフラプロジェクト優秀技術者認定・表彰制度に係る評価は「河川・道路・港湾（漁港を除く）」部門のみ対象とする。
※3 国土交通省インフラDX大賞は「河川・道路・港湾（漁港を除く）・営繕」部門のみ対象とする。また、優良工事表彰と国土交通省インフラDX大賞、北海道開発局i-Con奨励賞の重複加点は行わず、評価値の高い方で評価を行う。
※4 「新技術導入促進（Ⅰ型）」を適用する場合は、従来のNETIS評価は行わない。（重複評価はしない）
※5 一般土木及び建築のうち、A等級の工事発注を対象とする。

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）

○評価項目

令和6年9月6日以降適用

評価項目		評価基準	施工能力評価型　Ⅰ型① 施工計画重視型 施工計画重視型（3項目） 評価	配点	施工計画重視型 施工計画重視型（3項目） 若手技術者育成型 評価	配点	施工計画重視型 施工計画重視型（3項目） 若手技術者育成型・同等評価型 評価	配点	施工能力評価型　Ⅰ型①,Ⅰ型② 技術者育成型・チャレンジ型 評価	配点
技術者	同種工事の施工実績（過去15年間の同種工事実績の同種性・立場）	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	2.0	2.0			2.0	2.0		
		より同種性の高い工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	1.0				1.0			
		同種性が認められる工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事	0.0				0.0			
	工事成績（過去10年間の開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人としての任意の一工事，同一工事区分）　※1	83点以上	3.0	3.0						
		82点以上83点未満	2.8							
		81点以上82点未満	2.6							
		80点以上81点未満	2.4							
		79点以上80点未満	2.2							
		78点以上79点未満	2.0							
		77点以上78点未満	1.8							
		76点以上77点未満	1.6							
		75点以上76点未満	1.4							
		74点以上75点未満	1.2							
		73点以上74点未満	1.0							
		72点以上73点未満	0.8							
		72点未満，又は実績なし	0.0							
	北海道開発局長優良工事表彰等（過去4年間。但し、舗装工事のみ工事区分「舗装」での表彰を評価。）	局長表彰あり（同一事業部門限定）	2.5	2.5						
		海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣賞　※2	2.5							
		網走開発建設部長表彰あり（同一事業部門限定）	1.5							
		海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣奨励賞 ※2	1.5	重複なし						
	CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定有り	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
		なし	0.0		0.0		0.0			
	施工監理能力の確認（書面）	当該工事での留意事項等　テーマ1	※3　10.0　8.0	20.0	※3　10.0　8.0	20.0	※3　10.0　8.0	20.0		
		テーマ2	5.0　6.0		5.0　6.0		5.0　6.0			
		テーマ3	5.0　6.0		5.0　6.0		5.0　6.0			
		評価なし	0.0　0.0	重複あり	0.0　0.0	重複あり	0.0　0.0	重複あり		
	小　計（技術者配点）			28.0		20.5		22.5		
	同種工事の施工実績（過去15年間）	より同種性の高い工事実績あり	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
		同種性が認められる工事実績あり	0.0		0.0		0.0			
	工事成績（過去2年間の開発局発注工事の成績平均点。但し、舗装工事のみ工事区分「舗装」の工事成績平均点を評価。）※1	83点以上	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
		82点以上83点未満	2.8		2.8		2.8			
		81点以上82点未満	2.6		2.6		2.6			
		80点以上81点未満	2.4		2.4		2.4			
		79点以上80点未満	2.2		2.2		2.2			
		78点以上79点未満	2.0		2.0		2.0			
		77点以上78点未満	1.8		1.8		1.8			
		76点以上77点未満	1.6		1.6		1.6			
		75点以上76点未満	1.4		1.4		1.4			
		74点以上75点未満	1.2		1.2		1.2			
		73点以上74点未満	1.0		1.0		1.0			
		72点以上73点未満	0.8		0.8		0.8			
		72点未満，又は実績なし	0.0		0.0		0.0			

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）

○評価項目

令和6年9月6日以降適用

評価項目			評価基準	施工能力評価型　Ⅰ型① 施工計画重視型 施工計画重視型（3項目） 評価	配点	施工能力評価型　Ⅰ型① 施工計画重視型 施工計画重視型（3項目）若手技術者育成型 評価	配点	施工能力評価型　Ⅰ型① 施工計画重視型 施工計画重視型（3項目）若手技術者育成型・同等評価型 評価	配点	施工能力評価型　Ⅰ型①, Ⅰ型② 技術者育成型・チャレンジ型 評価	配点
企業	表彰等 [過去2年間の局長等優良工事表彰、過去1年間の北海道開発局i-Con奨励賞、受賞決定日の翌月1日から2年間の国土交通省インフラDX大賞及び当該年度の工事成績優秀企業。ただし、舗装工事のみ工事区分「舗装」での表彰を評価。]		局長表彰または国土交通省インフラDX大賞：大臣賞あり（同一事業部門限定）	1.5	1.5 重複なし（※4）	1.5	1.5 重複なし（※4）	1.5	1.5 重複なし（※4）		
			網走開発建設部長表彰または国土交通省インフラDX大賞：優秀賞あり（同一事業部門限定）	1.0		1.0		1.0			
			北海道開発局i-Con奨励賞あり(同一事業部門限定)	0.5		0.5		0.5			
			工事成績優秀企業	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
	NETIS登録技術の活用　※5 【新技術活用の義務化対象工事では使用しない。】		①当該工事の関連分野での技術開発実績（NETIS登録）あり	0.5	1.0 重複なし	0.5	1.0 重複なし	0.5	1.0 重複なし		
			②有用な新技術の当該工事への活用あり	0.5		0.5		0.5			
			上記①と②が同技術である	1.0		1.0		1.0			
			なし	0.0		0.0		0.0			
	地域精通度	本支店・営業所の所在地 ※6	オホーツク総合振興局管内本店	1.0　1.0	1.0 （管内本店が条件の時は配点なし）	1.0　1.0	1.0 （管内本店が条件の時は配点なし）	1.0　1.0	1.0 （管内本店が条件の時は配点なし）		
			道内本店かつオホーツク総合振興局管内支店・営業所	0.5　0.5		0.5　0.5		0.5　0.5			
			道内本店	0.0　0.3		0.0　0.3		0.0　0.3			
			道内支店・営業所	ー　0.0		ー　0.0		ー　0.0			
		近隣地域での施工実績 （過去10年間のオホーツク総合振興局管内実績）	5件以上あり	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
			4件以下又はなし	0.0		0.0		0.0			
	地域貢献度	災害活動の実態（活動実績）、防災訓練の実績、災害活動拠点及び通年保有資機材の実績	a 災害時における活動実績あり	1.0	1.0 最大1点までただし、b,c,dのみ重複あり	1.0	1.0 最大1点までただし、b,c,dのみ重複あり	1.0	1.0 最大1点までただし、b,c,dのみ重複あり		
			b 防災訓練の実績	0.5		0.5		0.5			
			c 管内に災害活動拠点とした社屋を除く倉庫等保有	0.5		0.5		0.5			
			d 管内に通年保有資機材の保有	0.5		0.5		0.5			
			なし	0.0		0.0		0.0			
		災害活動の実態（協定の締結）	a 国の機関との締結あり	1.0	1.0 重複なし	1.0	1.0 重複なし	1.0	1.0 重複なし		
			b 地方自治体との締結あり	0.5		0.5		0.5			
			なし	0.0		0.0		0.0			
	小　計（企業配点）			管内本店	12.0	管内本店	12.0	管内本店	12.0		
				上記以外	13.0	上記以外	13.0	上記以外	13.0		
技術提案等	簡易な技術提案		施工上の課題に関する考え方等	4項目評価						20.0	20.0
				3項目評価						15.0	
				2項目評価						10.0	
				1項目評価						5.0	
				評価なし						0.0	重複なし
	施工計画		適切に記載されている								
			不適切な記載である、又は未記載								
ヒアリング	技術者の施工監理能力		十分な監理能力が確認できる								
			一定の監理能力が期待できる								
			上記以外								
	技術者の施工計画の理解度		施工計画の説明が適切である								
			施工計画の説明が不適切である								
配　点　合　計				管内本店	40.0	管内本店	32.5	管内本店	34.5	20.0	
				上記以外	41.0	上記以外	33.5	上記以外	35.5		

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）

○評価項目

令和6年9月6日以降適用

評価項目		評価基準		施工能力評価型　Ⅰ型① 施工計画重視型 施工計画重視型（3項目） 評価	配点	施工計画重視型 施工計画重視型（3項目） 若手技術者育成型 評価	配点	施工計画重視型 施工計画重視型（3項目） 若手技術者育成型・同等評価型 評価	配点	施工能力評価型　Ⅰ型①,Ⅰ型② 技術者育成型ロチャレンジ型 評価	配点
○舗装工事　選択項目（標準項目に原則的に追加して評価）											
企業	舗装施工管理技術者（一般社団法人日本道路建設業協会認定資格）	1級×1＋2級×0.5の値を評価	1.0以上	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
			1.0未満	0.0		0.0		0.0			
	技能者の元請比率	（元請の配置予定技能者数+子会社の配置予定技能者数）/全配置予定技能者数	0.7以上	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
			0.7未満	0.0		0.0		0.0			
	主要機械の元請比率 注1）	（元請が保有している配置予定主要機械数+子会社が保有している配置予定主要機械数+元請が長期リースしている配置予定主要機械数）/全配置予定主要機械数	0.5以上	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
			0.5未満	0.0		0.0		0.0			

注1）　ICT活用工事の場合は評価対象外

○漁港工事　選択項目（標準項目に原則的に追加して評価）											
企業	漁港漁場関係事業優良請負者表彰（過去2年間）	農林水産大臣又は水産庁長官表彰あり		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
技術者	施工環境監理者の資格	技術士（水産土木）を有している		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
		水産工学技士を有している		0.5		0.5		0.5			
		上記以外		0.0		0.0		0.0			

○作業船を使用する港湾・漁港工事（必須項目）											
企業	作業船の保有	保有比率50%以上または保険支払比率50%以上		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
		保有比率20%以上50%未満または保険支払比率20%以上50%未満		1.0		1.0		1.0			
		保有比率20%未満または保険支払比率20%未満		0.5		0.5		0.5			
		上記以外		0.0		0.0		0.0			

○環境性能の高い作業船を使用する港湾・漁港工事（必須項目）											
企業	環境性能の高い作業船（作業船に設置されている原動機）又は、環境性能の高い作業船（又は新造船）の評価	保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した新造船であり、出資比率50%以上		3.0（1.5）	3.0	3.0（1.5）	3.0	3.0（1.5）	3.0		
		保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した新造船であり、出資比率20%以上50%未満		1.5（0.7）		1.5（0.7）		1.5（0.7）			
		保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した新造船であり、出資比率20%未満		0.5（0.2）		0.5（0.2）		0.5（0.2）			
		保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した船であり、出資比率50%以上		2.0（1.0）		2.0（1.0）		2.0（1.0）			
		保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した船であり、出資比率20%以上50%未満		1.0　0.5		1.0　0.5		1.0　0.5			
		保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した船であり、出資比率20%未満		0.5（0.2）		0.5（0.2）		0.5（0.2）			
		上記以外		0.0（0.0）		0.0（0.0）		0.0（0.0）			

※平成22年改正前の窒素酸化物放出量基準を満足している作業船について評価する場合は、満点から1/2を乗じて加点する。【表中の（）数値】
※環境性能の高い作業船（作業船に設置されている原動機）の評価又は環境性能の高い作業船（新造船）の評価の、どちらか高い配点の基準を採用し、重複した評価はしない。

○新技術導入促進（Ⅰ型）【NETIS登録技術の活用と重複評価なし。新技術活用の原則義務化対象外の工事かつ施工能力評価型Ⅰ型（チャレンジ型を除く）に適用】											
企業	NETIS登録技術又はNETIS掲載期間を終了しているが有効性が認められる技術	提案された新技術（NETIS登録）の活用が有効かつ具体的である		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
		提案された新技術（NETIS未登録）の活用が有効かつ具体的である		1.0		1.0		1.0			
		提案された新技術の活用が有効かつ、具体的でない		0.0		0.0		0.0			

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）

令和6年9月6日以降適用

○評価項目

評価項目		評価基準	施工能力評価型　Ⅰ型① 施工計画重視型 施工計画重視型（3項目） 評価	配点	施工計画重視型 施工計画重視型（3項目） 若手技術者育成型 評価	配点	施工計画重視型 施工計画重視型（3項目） 若手技術者育成型・同等評価型 評価	配点	施工能力評価型　Ⅰ型①,Ⅰ型② 技術者育成型・チャレンジ型 評価	配点
○現道に係る道路工事（選択項目）										
地域精通度	維持工事の施工実績（当該工事区間を含む維持実績）	一般土木工事：年間維持除雪工事の施工実績5年以上あり 舗装工事：舗装維持工事の施工実績5年以上あり	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
○ICT活用工事（選択項目）										
企業	ICTの活用	活用あり	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
		活用なし	0.0		0.0		0.0			
○登録基幹技能者等の活用（選択項目）										
企業	登録基幹技能者、建設マスター、技能者を対象工事に配置した場合（元請け又は一次下請け）	登録基幹技能者を配置	1.0	1.0 重複なし	1.0	1.0 重複なし	1.0	1.0 重複なし		
		建設マスターを配置	1.0		1.0		1.0			
		技能士を配置	0.5		0.5		0.5			
		配置なし	0.0		0.0		0.0			
○若手技術者の年齢による加点（選択項目）										
技術者	配置予定監理（主任）技術者の年齢に応じて加点	配置予定監理（主任）技術者の年齢が公示日現在満45歳以下である			1.0	1.0	1.0	1.0		
		配置予定監理（主任）技術者の年齢が公示日現在満46歳を超えている			0.0		0.0			
○ワークライフバランス等推進企業に対する評価										
企業の能力等	ワーク・ライフ・バランス等推進企業等 ※7	次に掲げるいずれかの認定を受けている ①女性活躍推進法に基づく認定等（プラチナえるぼし・えるぼし認定企業等） ②次世代法に基づく認定（プラチナくるみん・くるみん（令和4年4月1日以降の基準）・くるみん（平成29年4月1日～令和4年3月31日までの基準）・くるみん（平成29年3月31日までの基準）・トライくるみん認定企業 ③若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール認定企業）	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
○賃上げを実施する企業に対する加点措置										
企業	契約を行う予定の年の4月以降に開始する入札者の最初の事業年度または契約を行う予定の暦年において、賃上げの実施を従業員に表明した企業等の評価	【大企業の場合】対前年度または前年比で給与等受給者一人当たりの平均受給額を3%以上増加 【中小企業の場合】対前年度または前年比で給与総額を1．5%以上増加	賃上げ配点　計算式 （技術者の小計＋企業の小計）×5%（小数点以下切上げて整数にする）・・・① ①÷（技術者の小計＋企業の小計＋①）≧5%　①が配点 ①÷（技術者の小計＋企業の小計＋①）＜5%　①に1点加点した点数が配点							
○賃上げ基準に達していない企業への減点措置										
企業	賃上げの実施を従業員に表明したが、賃上げ基準に達していない企業への減点	賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点	該当企業は、財務省から通知された日から1年間、賃上げ加算点よりも1点大きな配点で減点する （賃上げ基準に達していない企業のみ減点対象）							

※現道に係る工事の場合に、必要に応じ設定する。

※基準は公告日時点の満年齢

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）

○評価項目

令和6年9月6日以降適用

評価項目	評価基準	施工能力評価型　Ⅰ型①						施工能力評価型　Ⅰ型①,Ⅰ型②	
		施工計画重視型		施工計画重視型		施工計画重視型		技術者育成型・チャレンジ型	
		施工計画重視型（3項目）		施工計画重視型（3項目） 若手技術者育成型		施工計画重視型（3項目） 若手技術者育成型・同等評価型			
		評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点

※1 「一般土木」工事では、工事区分「維持」の維持工事（年間維持除雪等）の成績も評価対象とする。（道路部門限定）
※2 海外インフラプロジェクト優秀技術者認定・表彰制度に係る評価は「河川・道路・港湾（漁港を除く）」部門のみ対象とする。
※3 施工監理能力の確認（書面）における配点について、左欄はパターン1、右欄はパターン2の場合に対応している。
※4 国土交通省インフラDX大賞は「河川・道路・港湾（漁港を除く）・営繕」部門のみ対象とする。また、優良工事表彰と国土交通省インフラDX大賞、北海道開発局i-Con奨励賞の重複加点は行わず、評価値の高い方で評価を行う。
※5 「新技術導入促進（Ⅰ型）」を適用する場合は、従来のNETIS評価は行わない。（重複評価はしない）
※6 施工計画重視型の地域精通度、左欄は道内本店、右欄は道内本支店営業所に対応している。
※7 一般土木及び建築のうち、A等級の工事発注を対象とする。

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）　　【一般土木・舗装】

○評価項目

令和6年9月6日以降適用

評価項目		評価基準	技術提案評価型													
			非WTO						WTO							
					S型		A型				S型		A型			
					評価	配点	評価	配点			評価	配点	評価	配点		
技術者	同種工事の施工実績 （過去15年間の同種工事実績の同種性・立場）	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	段階選抜	総合評価	5.0	5.0	8.0	8.0	段階選抜		a		c			
		より同種性の高い工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事			2.5		4.0									
		同種性が認められる工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事			0.0		0.0									
	工事成績 （過去10年間の開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人としての任意の一工事，同一工事区分）　※1、※2	83点以上			5.0	5.0	8.0	8.0								
		82点以上83点未満			4.6		7.3									
		81点以上82点未満			4.2		6.6									
		80点以上81点未満			3.8		5.9									
		79点以上80点未満			3.4		5.2									
		78点以上79点未満			3.0		4.5									
		77点以上78点未満			2.6		3.8									
		76点以上77点未満			2.2		3.1									
		75点以上76点未満			1.8		2.4									
		74点以上75点未満			1.4		1.7									
		73点以上74点未満			1.0		1.0									
		72点以上73点未満			0.6		0.3									
		72点未満，又は実績なし			0.0		0.0									
	北海道開発局長優良工事表彰等 （過去4年間。但し、舗装工事のみ工事区分「舗装」での表彰を評価。）	局長表彰あり（同一事業部門限定）	下表		3.0	3.0 重複なし	3.0	3.0 重複なし								
		海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣賞　※3			3.0		3.0									
		網走開発建設部長表彰あり（同一事業部門限定）			1.5		1.5									
		海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣奨励賞			1.5		1.5									
	CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定有り	段階選抜		1.0	1.0										
	小　計（技術者配点）					14.0		19.0								
企業	同種工事の施工実績 （過去15年間）	より同種性の高い工事実績あり			3.0	3.0	7.0	7.0	段階選抜			b		d		
		同種性が認められる工事実績あり			0.0		0.0									
	工事成績 （過去2年間の開発局発注工事の成績平均点。但し、舗装工事のみ工事区分「舗装」の工事成績平均点を評価。） ※1，※2	83点以上			5.0	5.0	8.0	8.0								
		82点以上83点未満			4.6		7.3									
		81点以上82点未満			4.2		6.6									
		80点以上81点未満			3.8		5.9									
		79点以上80点未満			3.4		5.2									
		78点以上79点未満			3.0		4.5									
		77点以上78点未満			2.6		3.8									
		76点以上77点未満			2.2		3.1									
		75点以上76点未満			1.8		2.4									
		74点以上75点未満			1.4		1.7									
		73点以上74点未満			1.0		1.0									
		72点以上73点未満			0.6		0.3									
		72点未満，又は実績なし			0.0		0.0									

適宜設定
ただし、a=b

適宜設定
ただし、
c=d

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）　　【一般土木・舗装】

○評価項目

令和6年9月6日以降適用

評価項目		評価基準	技術提案評価型											
				非WTO						WTO				
				S型		A型				S型		A型		
				評価	配点		評価	配点		評価	配点	評価	配点
企業	表彰等 [過去2年間の局長等優良工事表彰、過去1年間の北海道開発局i-Con奨励賞、受賞決定日の翌月1日から2年間の国土交通省インフラDX大賞及び当該年度の工事成績優秀企業。ただし、舗装工事のみ工事区分「舗装」での表彰を評価。]	局長表彰または国土交通省インフラDX大賞：大臣賞あり（同一事業部門限定）	下表	2.0	2.0 重複なし ※4	総合評価	2.0	2.0 重複なし ※4	段階選抜				
		網走開発建設部長表彰または国土交通省インフラDX大賞：優秀賞あり（同一事業部門限定）		1.0			1.0						
		北海道開発局i-Con奨励賞あり(同一事業部門限定)		0.5			0.5						
		工事成績優秀企業		0.5	0.5		0.5	0.5					
	NETIS登録技術の活用　※5 【新技術活用の義務化対象工事では使用しない。】	①当該工事の関連分野での技術開発実績（NETIS登録）あり	総合評価	0.5	1.0 重複なし								
		②有用な新技術の当該工事への活用あり		0.5									
		上記①と②が同技術である		1.0									
		なし		0.0									
	地域貢献度 災害活動の実態（活動実績）、防災訓練の実績、災害活動拠点及び通年保有資機材の実績	a 災害時における活動実績あり		1.0	1.0 最大1点まで ただし、b,c,dのみ重複あり								
		b 防災訓練の実績		0.5									
		c 管内に災害活動拠点とした社屋を除く倉庫等保有		0.5									
		d 管内に通年保有資機材の保有		0.5									
		なし		0.0									
	地域貢献度 災害活動の実態（協定の締結）	a 国の機関との締結あり		1.0	1.0 重複なし								
		b 地方自治体との締結あり		0.5									
		なし		0.0									
	小　計（企業配点）			13.5			17.5						
技術提案等	簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等	段階選抜					20.0					20.0
	技術提案（WTOは段階選抜時）	高い効果が期待できる								総合評価	0～25.0		
		効果が期待できる											
		一般的事項のみの記載となっている											
	技術提案（WTOは段階選抜後）	高い効果が期待できる			30.0 （6点×5提案）	総合評価					35.0～60.0		
		効果が期待できる											
		一般的事項のみの記載となっている											
	技術提案	施工上の課題に対し最も優位な効果が期待できる						70.0					70.0
		施工上の課題に対し優位な効果が期待できる											
		施工上の課題に対し効果が期待できる											
		不適切ではないが一般的事項のみの記載となっている											
		技術提案が不適切である											
ヒアリング	技術者の施工管理能力	十分な監理能力が確認できる		0～5.0 ×1.0	技術者同種実績評価点に係数を乗じる								
		一定の監理能力が期待できる		×0.5									
		上記以外		×0.0									
	技術提案に対する理解度	提案を十分理解している		0～30.0 ×1.0	技術提案の評価点に係数を乗じる					0～60.0 ×1.0	技術提案の評価点に係数を乗じる		
		提案を理解している		×0.5						×0.5			
		上記以外		×0.0						×0.0			
配　点　合　計				（技・企・提案）	57.5		（技・企・簡易な提案） （技・企・提案）	56.5 106.5		（技・企・提案）	60.0	（技・企・簡易な提案） （技・企・提案）	20.0 70.0

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）　　【一般土木・舗装】

○評価項目

令和6年9月6日以降適用

評価項目		評価基準	技術提案評価型 非WTO S型 評価	技術提案評価型 非WTO S型 配点	技術提案評価型 非WTO A型 評価	技術提案評価型 非WTO A型 配点	技術提案評価型 WTO S型 評価	技術提案評価型 WTO S型 配点	技術提案評価型 WTO A型 評価	技術提案評価型 WTO A型 配点
○表彰等　選択項目（技術提案評価型（S型）非WTO工事のうち、段階的選抜方式を実施する場合に対象）										
企業	表彰等 （過去2年間の局長等優良工事表彰及び当該年度の工事成績優秀企業。または、過去3年間の国土技術開発賞の受賞実績。但し、舗装工事のみ工事区分「舗装」での表彰を評価。）	局長表彰あり（同一事業部門限定） または、過去3年間の国土技術開発賞の受賞実績（最優秀賞、優秀賞、特別賞）	2.0	2.5 重複有り						
		網走開発建設部長表彰あり（同一事業部門限定）	1.0							
		工事成績優秀企業	0.5							
技術者	北海道開発局長優良工事表彰等。または、高度なマネジメントの経験。（過去4年間。但し、舗装工事のみ工事区分「舗装」での表彰を評価。）	局長表彰あり（同一事業部門限定） または、高度なマネジメントの経験（事業促進PPP、PM/CM、技術協力業務）	3.0	3.0 重複なし						
		網走開発建設部長表彰あり（同一事業部門限定）	1.5							
○新技術導入促進（Ⅰ型）【NETIS登録技術の活用と重複評価なし。新技術活用の原則義務化対象外の工事かつ技術提案評価型S型に適用】										
企業	NETIS登録技術又はNETIS掲載期間を終了しているが有効性が認められる技術	提案された新技術（NETIS登録）の活用が有効かつ具体的である	6.0	6.0			6.0	6.0		
		提案された新技術（NETIS未登録）の活用が有効かつ具体的である	3.0				3.0			
		提案された新技術の活用が有効かつ、具体的でない	0.0				0.0			
○舗装工事　選択項目（標準項目に原則的に追加して評価）										
企業	舗装施工管理技術者 （一般社団法人日本道路建設業協会認定資格）	1級×1＋2級×0.5の値を評価	1.0以上	1.0						
			1.0未満	0.0						
	技能者の元請比率	（元請の配置予定技能者数+子会社の配置予定技能者数）/全配置予定技能者数	0.7以上	1.0						
			0.7未満	0.0						
	主要機械の元請比率 注1）	（元請が保有している配置予定主要機械数+子会社が保有している配置予定主要機械数+元請が長期リースしている配置予定主要機械数）/全配置予定主要機械数	0.5以上	1.0						
			0.5未満	0.0						
○漁港工事　選択項目（標準項目に原則的に追加して評価）										
企業	漁港漁場関係事業優良請負者表彰（過去2年間）	農林水産大臣又は水産庁長官表彰あり	1.0	1.0						
		なし	0.0							
○作業船を使用する港湾・漁港工事（必須項目）										
企業	作業船の保有	保有比率50%以上または保険支払比率50%以上	1.0	1.0						
		保有比率20%以上50%未満または保険支払比率20%以上50%未満	0.5							
		保有比率20%未満または保険支払比率20%未満	0.0							
		上記以外	0.0							

注）　対象とする場合には、上表の表彰部分に使用する。

注1）　ICT活用工事の場合は評価対象外

※技術提案評価型A型、技術提案評価型S型（WTO）を除く。

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）　　【一般土木・舗装】

○評価項目

令和6年9月6日以降適用

評価項目		評価基準	技術提案評価型 非WTO S型 評価	技術提案評価型 非WTO S型 配点	技術提案評価型 非WTO A型 評価	技術提案評価型 非WTO A型 配点	技術提案評価型 WTO S型 評価	技術提案評価型 WTO S型 配点	技術提案評価型 WTO A型 評価	技術提案評価型 WTO A型 配点
○環境性能の高い作業船を使用する港湾・漁港工事（必須項目）										
企業	環境性能の高い作業船（作業船に設置されている原動機）又は、環境性能の高い作業船（新造船）の評価	保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した新造船であり、出資比率50%以上	1.5 (0.7)	1.5						
		保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した新造船であり、出資比率20%以上50%未満	1.0 (0.5)							
		保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した新造船であり、出資比率20%未満	0.5 (0.2)							
		保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した船であり、出資比率50%以上	1.0 (0.5)							
		保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した船であり、出資比率20%以上50%未満	0.5 (0.2)							
		保有状況で提示した作業船に設定されている原動機がすべて環境性能を達成した船であり、出資比率20%未満	0.0 (0.0)							
		上記以外	0.0 (0.0)							

※平成22年改正前の窒素酸化物放出量基準を満足している作業船について評価する場合は、満点から1/2を乗じて加点する。【表中（ ）の数値】
※環境性能の高い作業船（作業船に設置されている原動機）の評価又は環境性能の高い作業船（新造船）の評価の、どちらか高い配点の基準を採用し、重複した評価はしない。

○ICT活用工事（選択項目）

企業	ICTの活用	活用あり	2.0	2.0
		活用なし	0.0	

○登録基幹技能者等の活用（選択項目）

企業	登録基幹技能者、建設マスター、技能者を対象工事に配置した場合（元請け又は一次下請け）	登録基幹技能者を配置	1.0	1.0 重複なし
		建設マスターを配置	1.0	
		技能士	0.5	
		配置なし	0.0	

○ワークライフバランス等推進企業に対する評価

企業	企業の能力等	ワーク・ライフ・バランス等推進企業等 ※6	次に掲げるいずれかの認定を受けている ①女性活躍推進法に基づく認定等（プラチナえるぼし・えるぼし認定企業等） ②次世代法に基づく認定（プラチナくるみん・くるみん（令和4年4月1日以降の基準）・くるみん（平成29年4月1日～令和4年3月31日までの基準）・くるみん（平成29年3月31日までの基準）・トライくるみん認定企業 ③若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール認定企業）			0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）　　【一般土木・舗装】

○評価項目

令和6年9月6日以降適用

評価項目		評価基準	技術提案評価型									
			非WTO					WTO				
			S型		A型			S型		A型		
				評価	配点	評価	配点		評価	配点	評価	配点

○賃上げを実施する企業に対する加点措置

企業	契約を行う予定の年の4月以降に開始する入札者の最初の事業年度または契約を行う予定の暦年において、賃上げの実施を従業員に表明した企業等の評価	【大企業の場合】対前年度または前年比で給与等受給者一人当たりの平均受給額を3%以上増加 【中小企業の場合】対前年度または前年比で給与総額を1．5%以上増加	賃上げ配点　計算式 （技術者の小計＋企業の小計）×5%（小数点以下切上げて整数にする）・・・① ①÷（技術者の小計＋企業の小計＋①）≧5%　①が配点　　①÷（技術者の小計＋企業の小計＋①）＜5%　①に1点加点した点数が配点

○賃上げ基準に達していない企業への減点措置

企業	賃上げの実施を従業員に表明したが、賃上げ基準に達していない企業への減点	賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点	該当企業は、財務省から通知された日から1年間、賃上げ加算点よりも1点大きな配点で減点する （賃上げ基準に達していない企業のみ減点対象）

※1 「一般土木」工事では、工事区分「維持」の維持工事（年間維持除雪等）の成績も評価対象とする。（道路部門限定）
※2 「舗装」工事では、工事区分「維持」の舗装補修工事又は舗装維持工事の成績も評価対象とする。（道路部門限定）
※3 海外インフラプロジェクト優秀技術者認定・表彰制度に係る評価は「河川・道路・港湾（漁港を除く）」部門のみ対象とする。
※4 国土交通省インフラDX大賞は「河川・道路・港湾（漁港を除く）・営繕」部門のみ対象とする。また、優良工事表彰と国土交通省インフラDX大賞及び北海道開発局i-Con奨励賞の重複加点は行わず、評価値の高い方で評価を行う。
※5 「新技術導入促進（Ｉ型）」を適用する場合は、従来のNETIS評価は行わない。（重複評価はしない）
※6　一般土木及び建築のうち、政府調達協定対象工事及びA等級の工事を対象とする。

令和6年度　総合評価落札方式の配点項目と配点（網走開発建設部）　　【鋼橋上部・PSコンクリート・維持・塗装・造園】

○評価項目

令和6年9月6日以降適用

評価項目		評価基準	タイプ	施工能力評価型				施工能力評価型							
				Ⅰ型 ①		Ⅰ型 ②		地域維持型（JV対象工事）		Ⅰ型 ①				Ⅱ型	
			工種	鋼橋上部・PSコンクリート						管渠清掃 植栽維持・塗装※1		舗装維持・河川維持・造園		維持・造園	
			地域要件	道内本支店・営業所				道内本店		道内本店 道内本支店・営業所		管内本店		道内本店 管内本店	
				評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
技術者	同種工事の施工実績（過去15年間の同種工事実績の同種性・立場）	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		3.0	3.0	7.0	7.0	7.0	7.0	3.0	3.0	3.0	3.0	7.0	7.0
		より同種性の高い工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		1.5		3.5		3.5		1.5		1.5		3.5	
		同種性が認められる工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	工事成績（過去10年間の開発局発注工事の監理（主任）技術者あるいは現場代理人としての任意の一工事，同一工事区分）	83点以上		3.0	3.0	8.0	8.0	8.0	8.0	3.0	3.0	3.0	3.0	8.0	8.0
		82点以上83点未満		2.8		7.3		7.3		2.8		2.8		7.3	
		81点以上82点未満		2.6		6.6		6.6		2.6		2.6		6.6	
		80点以上81点未満		2.4		5.9		5.9		2.4		2.4		5.9	
		79点以上80点未満		2.2		5.2		5.2		2.2		2.2		5.2	
		78点以上79点未満		2.0		4.5		4.5		2.0		2.0		4.5	
		77点以上78点未満		1.8		3.8		3.8		1.8		1.8		3.8	
		76点以上77点未満		1.6		3.1		3.1		1.6		1.6		3.1	
		75点以上76点未満		1.4		2.4		2.4		1.4		1.4		2.4	
		74点以上75点未満		1.2		1.7		1.7		1.2		1.2		1.7	
		73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	
		72点以上73点未満		0.8		0.3		0.3		0.8		0.8		0.3	
		72点未満，又は実績なし		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	北海道開発局長優良工事表彰等（過去4年間）	局長表彰あり（同一事業部門限定）		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
		海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣賞　※2		3.0	重複なし	3.0	重複なし	3.0	重複なし	3.0	重複なし	3.0	重複なし	3.0	重複なし
		網走開発建設部長表彰あり（同一事業部門限定）		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5	
		海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣奨励賞 ※2		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5	
	CPDへの取り組み	指定団体の一定数以上の認定有り		0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0
	施工監理能力の確認（書面）	過去の同種工事の実績・経験を踏まえた、当該工事での留意事項等	秀	10.0	10.0					10.0	10.0	10.0	10.0		
			優	6.7						6.7		6.7			
			良	3.3						3.3		3.3			
			可	0.0						0.0		0.0			
	小　計（技術者配点）				19.5		19.0		19.0		19.5		19.5		19.0
	同種工事の施工実績（過去15年間）	より同種性の高い工事実績あり		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
		同種性が認められる工事実績あり		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	

令和6年度　総合評価落札方式の配点項目と配点（網走開発建設部）　　【鋼橋上部・PSコンクリート・維持・塗装・造園】

〇評価項目

令和6年9月6日以降適用

評価項目		評価基準	タイプ	施工能力評価型				施工能力評価型							
				Ⅰ型 ①		Ⅰ型 ②		地域維持型（JV対象工事）		Ⅰ型 ①				Ⅱ型	
			工種	鋼橋上部・PSコンクリート						管渠清掃 植栽維持・塗装※1		舗装維持・河川維持・造園		維持・造園	
			地域要件	道内本支店・営業所				道内本店		道内本店 道内本支店・営業所		管内本店		道内本店 管内本店	
				評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
企業	工事成績（過去2年間の開発局発注工事の成績平均点）	83点以上		6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
		82点以上83点未満		5.5		5.5		5.5		4.6		4.6		4.6	
		81点以上82点未満		5.0		5.0		5.0		4.2		4.2		4.2	
		80点以上81点未満		4.5		4.5		4.5		3.8		3.8		3.8	
		79点以上80点未満		4.0		4.0		4.0		3.4		3.4		3.4	
		78点以上79点未満		3.5		3.5		3.5		3.0		3.0		3.0	
		77点以上78点未満		3.0		3.0		3.0		2.6		2.6		2.6	
		76点以上77点未満		2.5		2.5		2.5		2.2		2.2		2.2	
		75点以上76点未満		2.0		2.0		2.0		1.8		1.8		1.8	
		74点以上75点未満		1.5		1.5		1.5		1.4		1.4		1.4	
		73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	
		72点以上73点未満		0.5		0.5		0.5		0.6		0.6		0.6	
		72点未満，又は実績なし		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	表彰等［過去2年間の局長等優良工事表彰、過去1年間の北海道開発局i-Con奨励賞、受賞決定日の翌月1日から2年間の国土交通省インフラDX大賞及び当該年度の工事成績優秀企業。ただし、舗装工事のみ工事区分「舗装」での表彰を評価。］ ※3	局長表彰または国土交通省インフラDX大賞：大臣賞あり（同一事業部門限定）		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
		網走開発建設部長表彰または国土交通省インフラDX大賞：優秀賞あり（同一事業部門限定）		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	
		北海道開発局i-Con奨励賞あり(同一事業部門限定)		0.5	重複なし	0.5	重複なし	0.5	重複なし	0.5	重複なし	0.5	重複なし	0.5	重複なし
		工事成績優秀企業　※4		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	NETIS登録技術の活用【新技術活用の義務化対象工事では使用しない。】 ※5	①当該工事の関連分野での技術開発実績（NETIS登録）あり		0.5	1.0	0.5	1.0	1.0	1.0						
		②有用な新技術の当該工事への活用あり		0.5		0.5		0.5							
		上記①と②が同技術である		1.0		1.0		0.5							
		②有用な新技術の当該工事への活用あり		0.0	重複なし	0.0	重複なし	0.0	重複なし						
	地域精通度 本支店・営業所の所在地 ※6、※7	オホーツク総合振興局管内本店		－ 1.0	1.0	― 1.0	1.0	1.0	1.0	2.0 2.0	2.0			2.0	2.0（管内本店が条件の時は配点なし）
		道内本店かつオホーツク総合振興局管内支店・営業所		－ 0.5		― 0.5		0.5		1.0 1.0				1.0	
		道内本店		1.0 0.3		1.0 0.3		0.0		0.0 0.5				0.0	
		北海道内に工場が所在		0.5 ―		0.5 ―								－	
		道内支店・営業所		0.0 0.0		0.0 0.0		―		― 0.0					
	近隣地域での施工実績（過去10年間のオホーツク総合振興局管内実績）	5件以上あり		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
		4件以下又はなし		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	

令和6年度　総合評価落札方式の配点項目と配点（網走開発建設部）　　【鋼橋上部・PSコンクリート・維持・塗装・造園】

○評価項目

令和6年9月6日以降適用

評価項目			評価基準	タイプ	施工能力評価型				施工能力評価型							
					Ⅰ型 ①		Ⅰ型 ②		地域維持型（JV対象工事）		Ⅰ型 ①				Ⅱ型	
				工種	鋼橋上部・PSコンクリート						管渠清掃 植栽維持・塗装※1		舗装維持・河川維持・造園		維持・造園	
				地域要件	道内本支店・営業所				道内本店		道内本店 道内本支店・営業所		管内本店		道内本店 管内本店	
					評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
	地域貢献度	災害活動の実態（活動実績）、防災訓練の実績、災害活動拠点及び通年保有資機材の実績	a 災害時における活動実績あり		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			b 防災訓練の実績		0.5	最大1点までただし、b，c及びdのみ重複あり	0.5	最大1点までただし、b，c及びdのみ重複あり	0.5	最大1点までただし、b，c及びdのみ重複あり	0.5	最大1点までただし、b，c及びdのみ重複あり	0.5	最大1点までただし、b，c及びdのみ重複あり	0.5	最大1点までただし、b，c及びdのみ重複あり
			c 管内に災害活動拠点とした社屋を除く倉庫等保有		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5	
			d 管内に通年保有資機材の保有		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5	
			なし		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
		災害活動の実態（協定の締結）	a 国の機関との締結あり		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			b 地方自治体との締結あり		0.5	重複なし	0.5	重複なし	0.5	重複なし	0.5	重複なし	0.5	重複なし	0.5	重複なし
			なし		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	小　計（企業配点）					18.5		18.5		18.5		17.5		15.5		17.5
技術提案等	施工計画		適切に記載されている				可		可							
			不適切な記載である、又は未記載				不可	失格	不可	失格						
ヒアリング	技術者の施工監理能力		十分な監理能力が確認できる				7.0 ×1.0	技術者同種実績評価点に係数を乗じる	7.0 ×1.0	技術者同種実績評価点に係数を乗じる						
			一定の監理能力が期待できる				3.5 ×0.5		3.5 ×0.5							
			上記以外				0.0 ×0.0		0.0 ×0.0							
	技術者の施工計画の理解度		施工計画の説明が適切である				可		可							
			施工計画の説明が不適切である				不可	失格	不可	失格						
配　点　合　計						38.0		37.5		37.5		37.0		35.0		36.5

○地域維持型のJV対象工事の本支店・営業所

企業	所在地	当該事務所管内本店	1.0
	本支店・営業所	オホーツク総合振興局管内本店	0.5
		上記以外の道内本店・支店・営業所	0.0

1.0

※地域維持型JV対象工事の評価基準を上記のとおり読み替えてください。

○ICT活用工事（選択項目）

企業	ICTの活用	活用あり							2.0	2.0			2.0	2.0	2.0	2.0
		活用なし							0.0				0.0		0.0	

○登録基幹技能者等の活用（選択項目）

企業	登録基幹技能者、建設マスター、技能者を対象工事に配置した場合（元請け又は一次下請け）	登録基幹技能者を配置	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		建設マスターを配置	1.0	重複なし	1.0	重複なし	1.0	重複なし	1.0	重複なし	1.0	重複なし	1.0	重複なし	1.0	重複なし
		技能士を配置	0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5	
		上記以外	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	

令和6年度　総合評価落札方式の配点項目と配点（網走開発建設部）　　【鋼橋上部・PSコンクリート・維持・塗装・造園】

○評価項目

令和6年9月6日以降適用

評価項目	評価基準	タイプ	施工能力評価型				施工能力評価型							
			Ⅰ型 ①		Ⅰ型 ②		地域維持型（JV対象工事）		Ⅰ型 ①				Ⅱ型	
		工種	鋼橋上部・PSコンクリート						管渠清掃 植栽維持・塗装※1		舗装維持・河川維持・造園		維持・造園	
		地域要件	道内本支店・営業所				道内本店		道内本店 道内本支店・営業所		管内本店		道内本店 管内本店	
			評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
○新技術導入促進（Ⅰ型）【NETIS登録技術の活用と重複評価なし。新技術活用の原則義務化対象外の工事かつ施工能力評価型Ⅰ型に適用】														
企業	NETIS登録技術又はNETIS掲載期間を終了しているが有効性が認められる技術	提案された新技術（NETIS登録）の活用が有効かつ具体的である	2.0	2.0	2.0	2.0								
		提案された新技術（NETIS未登録）の活用が有効かつ具体的である	1.0		1.0									
		提案された新技術の活用が有効かつ、具体的でない	0.0		0.0									
○施工体制評価点														
品質確保の実効性 ※0.1億円以上対象 ※分任官発注工事は対象としない		施工体制が十分確保、要求要件をより確実に実現可能	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
		施工体制が概ね確保、要求要件を確実に実現可能	5.0		5.0		5.0		5.0		5.0		5.0	
		その他	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
施工体制確保の確実性 ※0.1億円以上対象 ※分任官発注工事は対象としない		施工体制が十分確保、要求要件をより確実に実現可能	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
		施工体制が概ね確保、要求要件を確実に実現可能	5.0		5.0		5.0		5.0		5.0		5.0	
		その他	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	

○賃上げを実施する企業に対する加点措置

企業	契約を行う予定の年の4月以降に開始する入札者の最初の事業年度または契約を行う予定の暦年において、賃上げの実施を従業員に表明した企業等の評価	【大企業の場合】対前年度または前年比で給与等受給者一人当たりの軽金受給額を3%以上増加 【中小企業の場合】対前年度または前年比で給与総額を1．5%以上増加	賃上げ配点　計算式 （技術者の小計＋企業の小計）×5%（小数点以下切上げて整数にする）・・・① ①÷（技術者の小計＋企業の小計＋①）≧5%　①が配点 ①÷（技術者の小計＋企業の小計＋①）＜5%　①に1点加点した点数が配点

○賃上げ基準に達していない企業への減点措置

企業	賃上げの実施を従業員に表明したが、賃上げ基準に達していない企業への減点	賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点	該当企業は、財務省から通知された日から1年間、賃上げ加算点よりも1点大きな配点で減点する （賃上げ基準に達していない企業のみ減点対象）

※1　区画線設置工事（塗装）をⅡ型で発注する場合は、維持・造園Ⅱ型を参照すること。
※2 海外インフラプロジェクト優秀技術者認定・表彰制度に係る評価は「河川・道路・港湾（漁港を除く）」部門のみ対象とする。
※3　国土交通省インフラDX大賞は「河川・道路・港湾（漁港を除く）・営繕」部門のみ対象とする。また、優良工事表彰、国土交通省インフラDX大賞及び北海道開発局i-Con奨励賞の重複加点は行わず、評価値の高い方で評価を行う。
※4　工事区分「造園」・「塗装」で発注する工事は、工事成績優秀企業（0.5点）を評価項目として設定しない。
※5 「新技術導入促進（Ⅰ型）」を適用する場合は、従来のNETIS評価は行わない。（重複評価はしない）
※6 鋼橋上部・PSコンクリートの地域精通度、左欄は鋼橋上部、右欄はPSコンクリートに対応している。
※7　Ⅰ型①（管渠清掃・植栽維持・塗装）の地域精通度配点、左欄は道内本店、右欄は道内本支店営業所に対応している。

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）【電気・機械・営繕】

令和6年9月6日以降適用

評価項目		評価基準		電気					
				施工能力評価型					
				（電気工事）Ⅱ型		（電気通信工事）Ⅱ型		Ⅰ型 ①	
				0.8億円未満		0.8億円未満		0.8億円以上	
				電気工事，電気通信工事(括弧書き)					
				評価	配点	評価	配点	評価	配点
技術者	同種工事の施工実績 （過去15年間の同種工事実績の同種性・立場）	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		7.0	7.0	7.0	7.0	3.0	3.0
		より同種性の高い工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		3.5		3.5		1.5	
		同種性が認められる工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事		0.0		0.0		0.0	
	工事成績 （過去10年間の開発局発注工事の監理（主任）技術者あるいは現場代理人としての任意の一工事，同一工事区分）	83点以上		8.0	8.0	8.0	8.0	3.0	3.0
		82点以上83点未満		7.3		7.3		2.8	
		81点以上82点未満		6.6		6.6		2.6	
		80点以上81点未満		5.9		5.9		2.4	
		79点以上80点未満		5.2		5.2		2.2	
		78点以上79点未満		4.5		4.5		2.0	
		77点以上78点未満		3.8		3.8		1.8	
		76点以上77点未満		3.1		3.1		1.6	
		75点以上76点未満		2.4		2.4		1.4	
		74点以上75点未満		1.7		1.7		1.2	
		73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0	
		72点以上73点未満		0.3		0.3		0.8	
		72点未満，又は実績なし		0.0		0.0		0.0	
	北海道開発局長優良工事表彰等　※1 （過去4年間）	局長表彰あり（同一事業部門限定）		3.0	3.0 重複なし	3.0	3.0 重複なし	3.0	3.0 重複なし
		網走開発建設部長表彰あり（同一事業部門限定）		1.5		1.5		1.5	
	CPDへの取り組み	指定団体の一定数以上の認定有り		1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5
	施工監理能力の確認（書面）	過去の同種工事の実績・経験を踏まえた、当該工事での留意事項等	秀					10.0	10.0
			優					6.7	
			良					3.3	
			可					0.0	
	小　計（技術者配点）				19.0		19.0		19.5
企業	同種工事の施工実績 （過去15年間）	より同種性の高い工事実績あり		4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
		同種性が認められる工事実績あり		0.0		0.0		0.0	
	工事成績 （過去2年間の開発局発注工事の成績平均点）	83点以上		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
		82点以上83点未満		4.6		4.6		4.6	
		81点以上82点未満		4.2		4.2		4.2	
		80点以上81点未満		3.8		3.8		3.8	
		79点以上80点未満		3.4		3.4		3.4	
		78点以上79点未満		3.0		3.0		3.0	
		77点以上78点未満		2.6		2.6		2.6	
		76点以上77点未満		2.2		2.2		2.2	
		75点以上76点未満		1.8		1.8		1.8	
		74点以上75点未満		1.4		1.4		1.4	
		73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0	
		72点以上73点未満		0.6		0.6		0.6	
		72点未満，又は実績なし		0.0		0.0		0.0	
	表彰等 （過去2年間の局長等優良工事表彰、過去1年間の北海道開発局i-Con奨励賞、受賞決定日の翌月1日から2年間の国土交通省インフラDX大賞）	局長表彰または国土交通省インフラDX大賞	大臣賞あり	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
		網走開発建設部長表彰または国土交通省インフラDX大賞	優秀賞あり	1.0		1.0		1.0	
		北海道開発局i-Con奨励賞あり		0.5	重複なし※2	0.5	重複なし※2	0.5	重複なし※2

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）【電気・機械・営繕】

令和6年9月6日以降適用

評価項目			評価基準	電気					
				施工能力評価型					
				（電気工事）Ⅱ型		（電気通信工事）Ⅱ型		Ⅰ型 ①	
				0.8億円未満		0.8億円未満		0.8億円以上	
				電気工事，電気通信工事(括弧書き)					
				評価	配点	評価	配点	評価	配点
企業	NETIS登録技術の活用 【新技術活用の義務化対象工事では使用しない。】		①当該工事の関連分野での技術開発実績（NETIS登録）あり ②有用な新技術の当該工事への活用あり 上記①と②が同技術である なし						
企業	地域精通度	本支店・営業所の所在地	オホーツク総合振興局管内本店	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0(2.0)	1.0 (2.0) ※3
			道内本店かつオホーツク総合振興局管内支店・営業所	―		1.0		0.5(1.0)	
			道内本店	―		0.5		0.3(0.5)	
			道内支店・営業所	―		0.0		0.0	
			隣接総合振興局等（上川・宗谷・十勝・釧路・根室）管内本店かつオホーツク総合振興局管内支店・営業所	1.0		―		―	
			隣接総合振興局等（上川・宗谷・十勝・釧路・根室）管内本店	0.5		―		―	
			上記以外	0.0		―		―	
		近隣地域での施工実績 （過去10年間のオホーツク総合振興局管内実績）	5件以上あり	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0(2.0)	1.0 (2.0) ※3
			4件以下又はなし	0.0		0.0		0.0	
	地域貢献度	災害活動の実態（活動実績）、防災訓練の実績、災害活動拠点及び通年保有資機材の実績	a 災害時における活動実績あり	1.0	1.0 最大1点まで ただし、b，c，dのみ重複あり	1.0	1.0 最大1点まで ただし、b，c，dのみ重複あり	1.0	1.0 最大1点まで ただし、b，c，dのみ重複あり
			b 防災訓練の実績	0.5		0.5		0.5	
			c 管内に災害活動拠点とした社屋を除く倉庫等保有	0.5		0.5		0.5	
			d 管内に通年保有資機材の保有	0.5		0.5		0.5	
			なし	0.0		0.0		0.0	
		災害活動の実態（協定の締結）	a 国の機関との締結あり	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			b 地方自治体との締結あり	0.5		0.5		0.5	
			なし	0.0		0.0		0.0	
	小　計（企業配点）				17.0		17.0		15.0 (17.0)
技術提案等	施工計画		適切に記載されている 不適切な記載である、又は未記載						
ヒアリング	技術者の施工監理能力		十分な監理能力が確認できる 一定の監理能力が期待できる 上記以外						
ヒアリング	技術者の施工計画の理解度		施工計画の説明が適切である 施工計画の説明が不適切である						
配　点　合　計					36.0		36.0		34.5 (36.5)

○登録基幹技能者等の活用（選択項目）

企業	登録基幹技能者、建設マスター、技能者を対象工事に配置した場合（元請け又は一次下請け）		登録基幹技能者を配置	1.0	1.0 重複なし			1.0	1.0 重複なし
			建設マスターを配置	1.0				1.0	
			技能士を配置	―				0.5	
			上記以外	0.0				0.0	

○新技術導入促進（Ⅰ型）【NETIS登録技術の活用と重複評価なし。新技術活用の原則義務化対象外の工事かつ施工能力評価型Ⅰ型に適用】

企業	NETIS登録技術又はNETIS掲載期間を終了しているが有効性が認められる技術	提案された新技術（NETIS登録）の活用が有効かつ具体的である 提案された新技術（NETIS未登録）の活用が有効かつ具体的である 提案された新技術の活用が有効かつ、具体的でない				

○若手技術者の年齢による加点（選択項目）

技術者	若手技術者育成型の年齢評価 （※基準は公告日時点の満年齢）	配置予定技術者の年齢が公示日現在40歳以下 配置予定技術者の年齢が公示日現在41歳以上45歳以下 配置予定技術者の年齢が公示日現在46歳以上				

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）【電気・機械・営繕】

令和6年9月6日以降適用

評価項目		評価基準	電気					
			施工能力評価型					
			（電気工事）Ⅱ型		（電気通信工事）Ⅱ型		Ⅰ型 ①	
			0.8億円未満		0.8億円未満		0.8億円以上	
			電気工事，電気通信工事(括弧書き)					
			評価	配点	評価	配点	評価	配点
○減点項目								
過去3ヶ月間の指名停止状況		指名停止有り（停止期間1ヶ月超）	−1.5	−1.5 重複なし	−1.5	−1.5 重複なし	−1.5	−1.5 重複なし
過去1ヶ月間の指名停止等状況		指名停止有り（停止期間1ヶ月以下）	−1.5		−1.5		−1.5	
		文書注意有り	−1.0		−1.0		−1.0	
		口頭注意有り	−0.5		−0.5		−0.5	
過去6ヶ月の施工状況等		修補請求等を受けた	−0.5	−1.0	−0.5	−1.0	−0.5	−1.0
		修補請求等を受けた工事が低入札	−1.0		−1.0		−1.0	
○施工体制評価点								
品質確保の実効性 ※0.1億円以上対象		施工体制が十分確保、要求要件をより確実に実現可能	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
		施工体制が概ね確保、要求要件を確実に実現可能	5.0		5.0		5.0	
		その他	0.0		0.0		0.0	
施工体制確保の確実性 ※0.1億円以上対象		施工体制が十分確保、要求要件をより確実に実現可能	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
		施工体制が概ね確保、要求要件を確実に実現可能	5.0		5.0		5.0	
		その他	0.0		0.0		0.0	
○監理（主任）技術者の資格（選択項目）								
技術者	監理（主任）技術者の資格	技術士又は1級電気工事施工管理技士	1.0	1.0			0.5	0.5
		技術士	(1.0)				(0.5)	
		技術士又は一級建築士 1級土木施工管理技士又は1級建築施工管理技士経験年数5年以上	—				—	
		一級建築士又は1級建築施工管理技士経験年数5年以上	—				—	
		上記以外	0.0				0.0	
○ワークライフバランス等推進企業に対する評価								
企業	企業の能力等	ワーク・ライフ・バランス等推進企業等 ※4	次に掲げるいずれかの認定を受けている ①女性活躍推進法に基づく認定等（プラチナえるぼし・えるぼし認定企業等） ②次世代法に基づく認定（プラチナくるみん・くるみん（令和4年4月1日以降の基準）・くるみん（平成29年4月1日～令和4年3月31日までの基準）・くるみん（平成29年3月31日までの基準）・トライくるみん認定企業 ③若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール認定企業）					
○賃上げを実施する企業に対する加点措置								
企業	契約を行う予定の年の4月以降に開始する入札者の最初の事業年度または契約を行う予定の暦年において、賃上げの実施を従業員に表明した企業等の評価	【大企業の場合】対前年度または前年比で給与等受給者一人当たりの軽金受給額を3%以上増加 【中小企業の場合】対前年度または前年比で給与総額を1．5%以上増加	賃上げ配点　計算式　（技術者の小計＋企業の小計）×5%（小数点以下切上げて整数にする）・・・① ①÷（技術者の小計＋企業の小計＋①）≧5%　①が配点　　①÷（技術者の小計＋企業の小計＋①）＜5%　①に1点加点した点数が配点					
○賃上げ基準に達していない企業への減点措置								
企業	賃上げの実施を従業員に表明したが、賃上げ基準に達していない企業への減点	賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点	該当企業は、財務省から通知された日から1年間、賃上げ加算点よりも1点大きな配点で減点する （賃上げ基準に達していない企業のみ減点対象）					

※1　配置予定技術者が特例監理技術者として配置予定であり、本工事が2件目の配置となる場合には、優良工事表彰を受けている場合でも評価しない。

※2　国土交通省インフラDX大賞は「河川・道路・港湾（漁港を除く）・営繕」部門のみ対象とする。また、優良工事表彰、国土交通省インフラDX大賞及び北海道開発局i-Con奨励賞の重複加点は行わず、評価値の高い方で評価を行う。

※3　電気及び営繕における地域精通度の（　　）書きは、工事区分等級A以外の工事の場合に適用する配点とする。

※4　一般土木及び建築のうち、A等級の工事発注を対象とする。

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）【電気・機械・営繕】

令和6年9月6日以降適用

評価項目		評価基準		機械装置 施工能力評価型 Ⅱ型 2.5億円未満 機械器具設置工事，鋼構造物工事（括弧書き） 評価	配点	Ⅰ型① 2.5億円未満 評価	配点	Ⅰ型① 2.5億円以上 評価	配点	Ⅰ型② 2.5億円以上 評価	配点
技術者	同種工事の施工実績 （過去15年間の同種工事実績の同種性・立場）	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		7.0	7.0	3.0	3.0	3.0	3.0	7.0	7.0
		より同種性の高い工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		3.5		1.5		1.5		3.5	
		同種性が認められる工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事		0.0		0.0		0.0		0.0	
	工事成績 （過去10年間の開発局発注工事の監理（主任）技術者あるいは現場代理人としての任意の一工事，同一工事区分）	83点以上		8.0	8.0	3.0	3.0	3.0	3.0	8.0	8.0
		82点以上83点未満		7.3		2.8		2.8		7.3	
		81点以上82点未満		6.6		2.6		2.6		6.6	
		80点以上81点未満		5.9		2.4		2.4		5.9	
		79点以上80点未満		5.2		2.2		2.2		5.2	
		78点以上79点未満		4.5		2.0		2.0		4.5	
		77点以上78点未満		3.8		1.8		1.8		3.8	
		76点以上77点未満		3.1		1.6		1.6		3.1	
		75点以上76点未満		2.4		1.4		1.4		2.4	
		74点以上75点未満		1.7		1.2		1.2		1.7	
		73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0	
		72点以上73点未満		0.3		0.8		0.8		0.3	
		72点未満，又は実績なし		0.0		0.0		0.0		0.0	
	北海道開発局長優良工事表彰等　※1 （過去4年間）	局長表彰あり（同一事業部門限定）		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
		網走開発建設部長表彰あり（同一事業部門限定）		1.5	重複なし	1.5	重複なし	1.5	重複なし	1.5	重複なし
	CPDへの取り組み	指定団体の一定数以上の認定有り		1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0
	施工監理能力の確認（書面）	過去の同種工事の実績・経験を踏まえた、当該工事での留意事項等	秀			10.0	10.0	10.0	10.0		
			優			6.7		6.7			
			良			3.3		3.3			
			可			0.0		0.0			
	小　計（技術者配点）				19.0		19.5		19.5		19.0
企業	同種工事の施工実績 （過去15年間）	より同種性の高い工事実績あり		4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0
		同種性が認められる工事実績あり		0.0		0.0		0.0		0.0	
	工事成績 （過去2年間の開発局発注工事の成績平均点）	83点以上		5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
		82点以上83点未満		4.6		4.6		5.5		5.5	
		81点以上82点未満		4.2		4.2		5.0		5.0	
		80点以上81点未満		3.8		3.8		4.5		4.5	
		79点以上80点未満		3.4		3.4		4.0		4.0	
		78点以上79点未満		3.0		3.0		3.5		3.5	
		77点以上78点未満		2.6		2.6		3.0		3.0	
		76点以上77点未満		2.2		2.2		2.5		2.5	
		75点以上76点未満		1.8		1.8		2.0		2.0	
		74点以上75点未満		1.4		1.4		1.5		1.5	
		73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0	
		72点以上73点未満		0.6		0.6		0.5		0.5	
		72点未満，又は実績なし		0.0		0.0		0.0		0.0	
	表彰等 （過去2年間の局長等優良工事表彰、過去1年間の北海道開発局i-Con奨励賞、受賞決定日の翌月1日から2年間の国土交通省インフラDX大賞）	局長表彰または国土交通省インフラDX大賞	大臣賞あり	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
		網走開発建設部長表彰または国土交通省インフラDX大賞	優秀賞あり	1.0		1.0		1.0		1.0	
		北海道開発局i-Con奨励賞あり		0.5	重複なし※2	0.5	重複なし※2	0.5	重複なし※2	0.5	重複なし※2

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）【電気・機械・営繕】

令和6年9月6日以降適用

評価項目			評価基準	機械装置							
				施工能力評価型							
				Ⅱ型		Ⅰ型 ①				Ⅰ型 ②	
				2.5億円未満				2.5億円以上			
				機械器具設置工事，鋼構造物工事（括弧書き）							
				評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
企業	NETIS登録技術の活用 【新技術活用の義務化対象工事では使用しない。】		①当該工事の関連分野での技術開発実績（NETIS登録）あり								
			②有用な新技術の当該工事への活用あり								
			上記①と②が同技術である								
			なし								
	地域精通度	本支店・営業所の所在地	オホーツク総合振興局管内本店	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			道内本店かつオホーツク総合振興局管内支店・営業所	1.0		1.0		0.5		0.5	
			道内本店	0.5		0.5		0.3		0.3	
			道内支店・営業所	0.0		0.0		0.0		0.0	
			隣接総合振興局等（上川・宗谷・十勝・釧路・根室）管内本店かつオホーツク総合振興局管内支店・営業所								
			隣接総合振興局等（上川・宗谷・十勝・釧路・根室）管内本店								
			上記以外								
		近隣地域での施工実績 （過去10年間のオホーツク総合振興局管内実績）	5件以上あり	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			4件以下又はなし	0.0		0.0		0.0		0.0	
	地域貢献度	災害活動の実態（活動実績）、防災訓練の実績、災害活動拠点及び通年保有資機材の実績	a 災害時における活動実績あり	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			b 防災訓練の実績	0.5	最大1点まで ただし、b，c，d のみ重複あり	0.5	最大1点まで ただし、b，c，d のみ重複あり	0.5	最大1点まで ただし、b，c，d のみ重複あり	0.5	最大1点まで ただし、b，c，d のみ重複あり
			c 管内に災害活動拠点とした社屋を除く倉庫等保有	0.5		0.5		0.5		0.5	
			d 管内に通年保有資機材の保有	0.5		0.5		0.5		0.5	
			なし	0.0		0.0		0.0		0.0	
		災害活動の実態（協定の締結）	a 国の機関との締結あり	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			b 地方自治体との締結あり	0.5		0.5		0.5		0.5	
			なし	0.0		0.0		0.0		0.0	
	小　計（企業配点）				17.0		17.0		17.0		17.0
技術提案等	施工計画		適切に記載されている							可	
			不適切な記載である、又は未記載							不可	失格
ヒアリング	技術者の施工監理能力		十分な監理能力が確認できる							7.0 ×1.0	技術者同種実績評価点に係数を乗じる
			一定の監理能力が期待できる							3.5 ×0.5	
			上記以外							0.0 ×0.0	
	技術者の施工計画の理解度		施工計画の説明が適切である							可	
			施工計画の説明が不適切である							不可	失格
配　点　合　計					36.0		36.5		36.5		36.0

○登録基幹技能者等の活用（選択項目）

企業	登録基幹技能者、建設マスター、技能者を対象工事に配置した場合（元請け又は一次下請け）	登録基幹技能者を配置	1.0	1.0 重複なし	1.0	1.0 重複なし	1.0	1.0 重複なし	1.0	1.0 重複なし
		建設マスターを配置	1.0		1.0		1.0		1.0	
		技能士を配置	0.5		0.5		0.5		0.5	
		上記以外	0.0		0.0		0.0		0.0	

○新技術導入促進（Ⅰ型）【NETIS登録技術の活用と重複評価なし。新技術活用の原則義務化対象外の工事かつ施工能力評価型Ⅰ型に適用】

企業	NETIS登録技術又はNETIS掲載期間を終了しているが有効性が認められる技術	提案された新技術（NETIS登録）の活用が有効かつ具体的である								
		提案された新技術（NETIS未登録）の活用が有効かつ具体的である								
		提案された新技術の活用が有効かつ、具体的でない								

○若手技術者の年齢による加点（選択項目）

技術者	若手技術者育成型の年齢評価 （※基準は公告日時点の満年齢）	配置予定技術者の年齢が公示日現在40歳以下	2.0	2.0	2.0	2.0				
		配置予定技術者の年齢が公示日現在41歳以上45歳以下	1.0		1.0					
		配置予定技術者の年齢が公示日現在46歳以上	0.0		0.0					

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）【電気・機械・営繕】

令和6年9月6日以降適用

評価項目		評価基準	機械装置							
			施工能力評価型							
			Ⅱ型		Ⅰ型 ①				Ⅰ型 ②	
			2.5億円未満				2.5億円以上			
			機械器具設置工事，鋼構造物工事（括弧書き）							
			評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
○減点項目										
過去3ヶ月間の指名停止状況		指名停止有り（停止期間1ヶ月超）	−1.5		−1.5		−1.5		−1.5	
過去1ヶ月間の指名停止等状況		指名停止有り（停止期間1ヶ月以下）	−1.5	−1.5	−1.5	−1.5	−1.5	−1.5	−1.5	−1.5
		文書注意有り	−1.0	重複なし	−1.0	重複なし	−1.0	重複なし	−1.0	重複なし
		口頭注意有り	−0.5		−0.5		−0.5		−0.5	
過去6ヶ月の施工状況等		修補請求等を受けた	−0.5	−1.0	−0.5	−1.0	−0.5	−1.0	−0.5	−1.0
		修補請求等を受けた工事が低入札	−1.0		−1.0		−1.0		−1.0	
○施工体制評価点										
品質確保の実効性 ※0.1億円以上対象		施工体制が十分確保、要求要件をより確実に実現可能	15.0						15.0	
		施工体制が概ね確保、要求要件を確実に実現可能	5.0	15.0		15.0		15.0	5.0	15.0
		その他	0.0						0.0	
施工体制確保の確実性 ※0.1億円以上対象		施工体制が十分確保、要求要件をより確実に実現可能	15.0						15.0	
		施工体制が概ね確保、要求要件を確実に実現可能	5.0	15.0		15.0		15.0	5.0	15.0
		その他	0.0						0.0	
○監理（主任）技術者の資格（選択項目）										
技術者	監理（主任）技術者の資格	技術士又は1級電気工事施工管理技士	—		—		—		—	
		技術士	1.0		0.5		0.5		1.0	
		技術士又は一級建築士 1級土木施工管理技士又は1級建築施工管理技士経験年数5年以上	(1.0)	1.0	(0.5)	0.5	(0.5)	0.5	(1.0)	1.0
		一級建築士又は1級建築施工管理技士経験年数5年以上	—		—		—		—	
		上記以外	0.0		0.0		0.0		0.0	
○ワークライフバランス等推進企業に対する評価										
企業	企業の能力等	ワーク・ライフ・バランス等推進企業等 ※4	次に掲げるいずれかの認定を受けている ①女性活躍推進法に基づく認定等（プラチナえるぼし・えるぼし認定企業等） ②次世代法に基づく認定（プラチナくるみん・くるみん（令和4年4月1日以降の基準）・くるみん（平成29年4月1日～令和4年3月31日までの基準）・くるみん（平成29年3月31日までの基準）・トライくるみん認定企業 ③若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール認定企業）							
○賃上げを実施する企業に対する加点措置										
企業	契約を行う予定の年の4月以降に開始する入札者の最初の事業年度または契約を行う予定の暦年において、賃上げの実施を従業員に表明した企業等の評価	【大企業の場合】対前年度または前年比で給与等受給者一人当たりの軽金受給額を3%以上増加 【中小企業の場合】対前年度または前年比で給与総額を1．5%以上増加	賃上げ配点　計算式 （技術者の小計＋企業の小計）×5%（小数点以下切上げて整数にする）・・・① ①÷（技術者の小計＋企業の小計＋①）≧5%　①が配点 ①÷（技術者の小計＋企業の小計＋①）＜5%　①に1点加点した点数が配点							
○賃上げ基準に達していない企業への減点措置										
企業	賃上げの実施を従業員に表明したが、賃上げ基準に達していない企業への減点	賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点	該当企業は、財務省から通知された日から1年間、賃上げ加算点よりも1点大きな配点で減点する （賃上げ基準に達していない企業のみ減点対象）							

※1　配置予定技術者が特例監理技術者として配置予定であり、本工事が2件目の配置となる場合には、優良工事表彰を受けている場合でも評価しない。

※2　国土交通省インフラDX大賞は「河川・道路・港湾（漁港を除く）・営繕」部門のみ対象とする。また、優良工事表彰、国土交通省インフラDX大賞及び北海道開発局i-Con奨励賞の重複加点は行わず、評価値の高い方で評価を行う。

※3　電気及び営繕における地域精通度の（　　）書きは、工事区分等級A以外の工事の場合に適用する配点とする。

※4　一般土木及び建築のうち、A等級の工事発注を対象とする。

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）【電気・機械・営繕】

令和6年9月6日以降適用

評価項目		評価基準		営繕 施工能力評価型 Ⅱ型 営繕建築：2.5億円未満 営繕電気・管：0.8億円未満 評価	配点	Ⅰ型 ① 営繕建築：2.5億円以上 営繕電気・管：0.8億円以上 評価	配点	Ⅰ型 ② 営繕建築：2.5億円以上 営繕電気・管：0.8億円以上 評価	配点
技術者	同種工事の施工実績 （過去15年間の同種工事実績の同種性・立場）	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		7.0	7.0	3.0	3.0	7.0	7.0
		より同種性の高い工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		3.5		1.5		3.5	
		同種性が認められる工事において監理技術者補佐又は担当技術者として従事		0.0		0.0		0.0	
	工事成績 （過去10年間の開発局発注工事の監理（主任）技術者あるいは現場代理人としての任意の一工事，同一工事区分）	83点以上		8.0	8.0	3.0	3.0	8.0	8.0
		82点以上83点未満		7.3		2.8		7.3	
		81点以上82点未満		6.6		2.6		6.6	
		80点以上81点未満		5.9		2.4		5.9	
		79点以上80点未満		5.2		2.2		5.2	
		78点以上79点未満		4.5		2.0		4.5	
		77点以上78点未満		3.8		1.8		3.8	
		76点以上77点未満		3.1		1.6		3.1	
		75点以上76点未満		2.4		1.4		2.4	
		74点以上75点未満		1.7		1.2		1.7	
		73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0	
		72点以上73点未満		0.3		0.8		0.3	
		72点未満，又は実績なし		0.0		0.0		0.0	
	北海道開発局長優良工事表彰等　※1 （過去4年間）	局長表彰あり（同一事業部門限定）		3.0	3.0 重複なし	3.0	3.0 重複なし	3.0	3.0 重複なし
		網走開発建設部長表彰あり（同一事業部門限定）		1.5		1.5		1.5	
	CPDへの取り組み	指定団体の一定数以上の認定有り		1.0	1.0	0.5	0.5	1.0	1.0
	施工監理能力の確認（書面）	過去の同種工事の実績・経験を踏まえた、当該工事での留意事項等	秀			10.0	10.0		
			優			6.7			
			良			3.3			
			可			0.0			
	小　計（技術者配点）				19.0		19.5		19.0
企業	同種工事の施工実績 （過去15年間）	より同種性の高い工事実績あり		4.0	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0
		同種性が認められる工事実績あり		0.0		0.0		0.0	
	工事成績 （過去2年間の開発局発注工事の成績平均点）	83点以上		5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0
		82点以上83点未満		4.6		5.5		5.5	
		81点以上82点未満		4.2		5.0		5.0	
		80点以上81点未満		3.8		4.5		4.5	
		79点以上80点未満		3.4		4.0		4.0	
		78点以上79点未満		3.0		3.5		3.5	
		77点以上78点未満		2.6		3.0		3.0	
		76点以上77点未満		2.2		2.5		2.5	
		75点以上76点未満		1.8		2.0		2.0	
		74点以上75点未満		1.4		1.5		1.5	
		73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0	
		72点以上73点未満		0.6		0.5		0.5	
		72点未満，又は実績なし		0.0		0.0		0.0	
	表彰等 （過去2年間の局長等優良工事表彰、過去1年間の北海道開発局i-Con奨励賞、受賞決定日の翌月1日から2年間の国土交通省インフラDX大賞）	局長表彰または国土交通省インフラDX大賞	大臣賞あり	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
		網走開発建設部長表彰または国土交通省インフラDX大賞	優秀賞あり	1.0		1.0		1.0	
		北海道開発局i-Con奨励賞あり		0.5	重複なし※2	0.5	重複なし※2	0.5	重複なし※2

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）【電気・機械・営繕】

令和6年9月6日以降適用

評価項目			評価基準	営繕					
				施工能力評価型					
				Ⅱ型		Ⅰ型 ①		Ⅰ型 ②	
				営繕建築：2.5億円未満 営繕電気・管：0.8億円未満		営繕建築：2.5億円以上 営繕電気・管：0.8億円以上			
				評価	配点	評価	配点	評価	配点
企業	NETIS登録技術の活用 【新技術活用の義務化対象工事では使用しない。】		①当該工事の関連分野での技術開発実績（NETIS登録）あり	0.3	1.0	0.3	1.0	0.3	1.0
			②有用な新技術の当該工事への活用あり	0.7		0.7		0.7	
			上記①と②が同技術である	1.0		1.0		1.0	
			なし	0.0	重複なし	0.0	重複なし	0.0	重複なし
	地域精通度	本支店・営業所の所在地	オホーツク総合振興局管内本店	2.0	2.0	1.0(2.0)	1.0(2.0)	1.0(2.0)	1.0(2.0)
			道内本店かつオホーツク総合振興局管内支店・営業所	1.0	（管内本店が条件の時は配点なし）	0.5(1.0)	（管内本店が条件の時は配点なし）　※3	0.5(1.0)	（管内本店が条件の時は配点なし）※3
			道内本店	0.0		0.0		0.0	
			道内支店・営業所	―		―		―	
			隣接総合振興局等（上川・宗谷・十勝・釧路・根室）管内本店かつオホーツク総合振興局管内支店・営業所						
			隣接総合振興局等（上川・宗谷・十勝・釧路・根室）管内本店						
			上記以外						
		近隣地域での施工実績 （過去10年間のオホーツク総合振興局管内実績）	5件以上あり	2.0	2.0	1.0(2.0)	1.0 (2.0) ※3	1.0(2.0)	1.0 (2.0) ※3
			4件以下又はなし	0.0		0.0		0.0	
	地域貢献度	災害活動の実態（活動実績）、防災訓練の実績、災害活動拠点及び通年保有資機材の実績	a 災害時における活動実績あり	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			b 防災訓練の実績	0.5	最大1点まで ただし、b，c，d のみ重複あり	0.5	最大1点まで ただし、b，c，d のみ重複あり	0.5	最大1点まで ただし、b，c，d のみ重複あり
			c 管内に災害活動拠点とした社屋を除く倉庫等保有	0.5		0.5		0.5	
			d 管内に通年保有資機材の保有	0.5		0.5		0.5	
			なし	0.0		0.0		0.0	
		災害活動の実態（協定の締結）	a 国の機関との締結あり	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			b 地方自治体との締結あり	0.5		0.5		0.5	
			なし	0.0		0.0		0.0	
	小　計（企業配点）			管内本店	16.0	管内本店	17.0(18.0)	管内本店	17.0(18.0)
				上記以外	18.0	上記以外	18.0(20.0)	上記以外	18.0(20.0)
技術提案等	施工計画		適切に記載されている					可	
			不適切な記載である、又は未記載					不可	失格
ヒアリング	技術者の施工監理能力		十分な監理能力が確認できる					7.0　×1.0	技術者同種実績評価点に係数を乗じる
			一定の監理能力が期待できる					3.5　×0.5	
			上記以外					0.0　×0.0	
	技術者の施工計画の理解度		施工計画の説明が適切である					可	
			施工計画の説明が不適切である					不可	失格
配　点　合　計				管内本店	35.0	管内本店	36.5(37.5)	管内本店	36.0(37.0)
				上記以外	37.0	上記以外	37.5(39.5)	上記以外	37.0(39.0)

○登録基幹技能者等の活用（選択項目）

企業	登録基幹技能者、建設マスター、技能者を対象工事に配置した場合（元請け又は一次下請け）	登録基幹技能者を配置	1.0	1.0 重複なし	1.0	1.0 重複なし	1.0	1.0 重複なし
		建設マスターを配置	1.0		1.0		1.0	
		技能士を配置	0.5		0.5		0.5	
		上記以外	0.0		0.0		0.0	

○新技術導入促進（Ⅰ型）【NETIS登録技術の活用と重複評価なし。新技術活用の原則義務化対象外の工事かつ施工能力評価型Ⅰ型に適用】

企業	NETIS登録技術又はNETIS掲載期間を終了しているが有効性が認められる技術	提案された新技術（NETIS登録）の活用が有効かつ具体的である			2.0	2.0	2.0	2.0
		提案された新技術（NETIS未登録）の活用が有効かつ具体的である			1.0		1.0	
		提案された新技術の活用が有効かつ、具体的でない			0.0		0.0	

○若手技術者の年齢による加点（選択項目）

技術者	若手技術者育成型の年齢評価 （※基準は公告日時点の満年齢）	配置予定技術者の年齢が公示日現在40歳以下			
		配置予定技術者の年齢が公示日現在41歳以上45歳以下			
		配置予定技術者の年齢が公示日現在46歳以上			

令和6年度　総合評価落札方式の評価項目と配点（網走開発建設部）【電気・機械・営繕】

令和6年9月6日以降適用

評価項目		評価基準	営繕					
			施工能力評価型					
			Ⅱ型		Ⅰ型 ①		Ⅰ型 ②	
			営繕建築：2.5億円未満 営繕電気・管：0.8億円未満		営繕建築：2.5億円以上 営繕電気・管：0.8億円以上			
			評価	配点	評価	配点	評価	配点
○減点項目								
過去3ヶ月間の指名停止状況		指名停止有り（停止期間1ヶ月超）	−1.5	−1.5 重複なし	−1.5	−1.5 重複なし	−1.5	−1.5 重複なし
過去1ヶ月間の指名停止等状況		指名停止有り（停止期間1ヶ月以下）	−1.5		−1.5		−1.5	
		文書注意有り	−1.0		−1.0		−1.0	
		口頭注意有り	−0.5		−0.5		−0.5	
過去6ヶ月の施工状況等		修補請求等を受けた	−0.5	−1.0	−0.5	−1.0	−0.5	−1.0
		修補請求等を受けた工事が低入札	−1.0		−1.0		−1.0	
○施工体制評価点								
品質確保の実効性 ※0.1億円以上対象		施工体制が十分確保、要求要件をより確実に実現可能	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
		施工体制が概ね確保、要求要件を確実に実現可能	5.0		5.0		5.0	
		その他	0.0		0.0		0.0	
施工体制確保の確実性 ※0.1億円以上対象		施工体制が十分確保、要求要件をより確実に実現可能	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
		施工体制が概ね確保、要求要件を確実に実現可能	5.0		5.0		5.0	
		その他	0.0		0.0		0.0	
○監理（主任）技術者の資格（選択項目）								
技術者	監理（主任）技術者の資格	技術士又は1級電気工事施工管理技士	—	1.0	—	0.5	—	1.0
		技術士	—		—		—	
		技術士又は一級建築士 1級土木施工管理技士又は1級建築施工管理技士経験年数5年以上	—		—		—	
		一級建築士又は1級建築施工管理技士経験年数5年以上	1.0		0.5		1.0	
		上記以外	0.0		0.0		0.0	
○ワークライフバランス等推進企業に対する評価								
企業	企業の能力等	ワーク・ライフ・バランス等推進企業等 ※4	次に掲げるいずれかの認定を受けている ①女性活躍推進法に基づく認定等（プラチナえるぼし・えるぼし認定企業等） ②次世代法に基づく認定（プラチナくるみん・くるみん（令和4年4月1日以降の基準）・くるみん（平成29年4月1日～令和4年3月31日までの基準）・くるみん（平成29年3月31日までの基準）・トライくるみん認定企業 ③若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール認定企業）		0.5	0.5	0.5	0.5
○賃上げを実施する企業に対する加点措置								
企業	契約を行う予定の年の4月以降に開始する入札者の最初の事業年度または契約を行う予定の暦年において、賃上げの実施を従業員に表明した企業等の評価	【大企業の場合】対前年度または前年比で給与等受給者一人当たりの軽金受給額を3%以上増加 【中小企業の場合】対前年度または前年比で給与総額を1．5%以上増加	賃上げ配点　計算式 （技術者の小計＋企業の小計）×5%（小数点以下切上げて整数にする）・・・① ①÷（技術者の小計＋企業の小計＋①）≧5%　①が配点 ①÷（技術者の小計＋企業の小計＋①）＜5%　①に1点加点した点数が配点					
○賃上げ基準に達していない企業への減点措置								
企業	賃上げの実施を従業員に表明したが、賃上げ基準に達していない企業への減点	賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点	該当企業は、財務省から通知された日から1年間、賃上げ加算点よりも1点大きな配点で減点する （賃上げ基準に達していない企業のみ減点対象）					

※1　配置予定技術者が特例監理技術者として配置予定であり、本工事が2件目の配置となる場合には、優良工事表彰を受けている場合でも評価しない。

※2　国土交通省インフラDX大賞は「河川・道路・港湾（漁港を除く）・営繕」部門のみ対象とする。また、優良工事表彰、国土交通省インフラDX大賞及び北海道開発局i-Con奨励賞の重複加点は行わず、評価値の高い方で評価を行う。

※3　電気及び営繕における地域精通度の（　　）書きは、工事区分等級A以外の工事の場合に適用する配点とする。

※4　一般土木及び建築のうち、A等級の工事発注を対象とする。